

1 品種登録の番号及び年月日 第 2 9 2 7 5 号 令和 4 年 7 月 1 1 日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Agapanthus L'Her. AMBIC001

3 登録品種の特性の概要

落葉・常緑の別は落葉性、葉の長さは長、葉の幅はやや狭、葉の外曲は弱く外曲、葉の斑の有無は無、ほうの開きは片側、花茎の長さはやや長、花序の花数はやや少、花序の直径はやや小、花序の側面から見た形は狭扁円形、第二次花序の有無は無、つぼみの主な色はNN155C、花の形は鐘形、花型は一重、花被の長さはやや短、花被の直径は中、花被片の重なりは無、花被の筒部外面の主な色はN89C、花被片の長さ／幅は小、花被片の内面の縁部の色はNN155C、花被片の内面の中肋部の色はNN155C、やくの色は褐である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「AMBIC001」は、対照品種「PMN06」と比較して、葉の幅がやや狭であること、つぼみの二次色がN89Cであること、花被片の長さ／幅が小であること等で区別性が認められる。対照品種「Charlottyco」と比較して、葉の長さが長であること、花茎の長さがやや長であること、花被片の内面の縁部の色がNN155Cであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 2 5 年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Charles Andrew de Wet

Third Road 44, Linbro Park, Johannesburg, South Africa

6 登録品種の育成をした者の氏名

Charles Andrew de Wet

7 出願公表の年月日 平成 2 8 年 1 2 月 1 5 日

8 登録品種の育成の経過の概要

育成者所有の系統どうしを交配し、選抜したものである。

Agapanthus L'Her.
AMBIC001

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 5 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 落葉・常緑の別	01 落葉性
02 葉の粗密	03 粗
03 一芽当たりの葉数	04 やや少
04 葉の長さ	07 長
05 葉の幅	04 やや狭
06 葉の外曲	02 弱く外曲
07 葉の斑の有無	01 無
08 葉の成長に伴う斑の消失	
09 葉の表面の緑色（斑を除く。）	03 緑
10 葉の表面の斑の色	
11 葉の基部のアントシアニン着色の有無	01 無
12 ほうの全体の長さに対する先端部の長さ	03 短
13 ほうのアントシアニンの着色	01 無又は弱
14 ほうの開き	01 片側
15 花茎の長さ	06 やや長
16 花茎の太さ	05 中
17 花茎の横断面の形	01 楕円形

Agapanthus L'Her.
AMBIC001

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 5 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 花茎のアントシアニンの着色	01 無又は弱
19 花序の花数	04 やや少
20 花序の直径	04 やや小
21 花序の側面から見た形	03 狭扁円形
22 第二次花序の有無	01 無
23 つぼみの主な色	RHSカラーチャート NN155C
24 つぼみの二次色	RHSカラーチャート N89C
25 つぼみの二次色の分布	02 基部
26 小花柄の長さ	04 やや短
27 小花柄のアントシアニンの着色	01 無又は弱
28 小花柄のアントシアニン着色の分布	02 全体
29 花の形	04 鐘形
30 花型	01 一重
31 花被の長さ	04 やや短
32 花被の直径	05 中
33 花被片の重なり	01 無
34 花被の筒部の長さ	03 短

Agapanthus L'Her.
AMBIC001

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 5 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 花被の筒部外面の主な色	RHSカラーチャート N89C
36 花被片の長さ／幅	01 小
37 花被片の内面の縁部の色	RHSカラーチャート NN155C
38 花被片の内面の中肋部の色	RHSカラーチャート NN155C
39 花被片の内面の中肋部の透明度	01 無又は弱
40 花被片の縁の波打ち	01 弱
41 雄ずい及び雌ずいの花被片化の有無	01 無
42 雄ずいの突出	02 中
43 花糸の色	01 白
44 やくの色	07 褐
45 花柱の色	01 白
46 開花始期	06 やや晩

1 品種登録の番号及び年月日 第29276号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Dahlia Cav. ミヨダリインペJSM

3 登録品種の特性の概要

草姿は半直立、草丈はやや高、茎の色は紫、葉の型は主に1回羽状複葉、葉軸の翼の強弱は中、葉の色は赤褐を帯びた緑、小葉の形は楕円形、小葉の長さはやや長、小葉の周縁の鋸歯の数（裂片を除く。）はやや少、花柄の長さは極長、頭花の向きは水平、頭花の型は一重、頭花の花盤の型（一重品種及び半八重品種に限る。）はデイジー型、頭花の直径は大、頭花の舌状花の数（一重品種、半八重品種及び露心する八重品種に限る。）は極少、舌状花の長さは中、舌状花の中間部の横断面の形は平、舌状花の先端の形は尖り状、舌状花の表面の色数は2、舌状花の表面の主な色は34A、舌状花の表面の二次色の型（2色以上の品種に限る。）は不明瞭な条である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ミヨダリインペJSM」は、対照品種「ミヨダリガーネット」と比較して、頭花の型が一重であること、舌状花の長さ／幅が低であること等で区別性が認められる。対照品種「ミヨダリインペHSL」と比較して、葉の型が主に1回羽状複葉であること、舌状花の表面の主な色が34Aであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

株式会社ミヨシ
東京都世田谷区八幡山2丁目1番8号

6 登録品種の育成をした者の氏名

秋元徹 鹿毛哲郎

7 出願公表の年月日 令和2年7月16日

8 登録品種の育成の経過の概要

出願者所有の系統の自然交雑実生から選抜したものである。

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草姿	02 半直立
02 草丈	06 やや高
03 茎の色	04 紫
04 葉の型	03 主に1回羽状複葉
05 葉軸の翼の強弱	02 中
06 葉の長さ	06 やや長
07 葉の幅	06 やや広
08 葉の長さ／幅	02 かなり低
09 葉の色	04 赤褐を帯びた緑
10 葉の光沢の強弱	05 中
11 葉の表面のしわの強弱	01 平滑又は極弱
12 葉の葉脈の凹凸	02 平
13 小葉の形	02 楕円形
14 小葉の長さ	06 やや長
15 小葉の幅	04 やや狭
16 小葉の基部の形	01 鋭形
17 小葉の周縁の鋸歯の数（裂片を除く。）	04 やや少

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 小葉の周縁の鋸歯の深さ（裂片を除く。）	06 やや深
19 花柄の長さ	09 極長
20 花柄の色	04 紫
21 葉群に対する頭花の位置	02 葉群と同等
22 頭花の向き	05 水平
23 頭花の型	01 一重
24 頭花の花盤の型（一重品種及び半八重品種に限る。）	01 デイジー型
25 頭花の副弁の有無	01 無
26 舌状花に対する副弁の長さ	
27 頭花の直径	07 大
28 頭花の高さ（八重品種及び露心する八重品種に限る。）	
29 頭花の舌状花の数（一重品種、半八重品種及び露心する八重品種に限る。）	01 極少
30 頭花の舌状花の粗密（八重品種に限る。）	
31 舌状花の長さ	05 中
32 舌状花の幅	07 広
33 舌状花の長さ／幅	03 低
34 舌状花の表面の形状	03 キール状（竜骨突起）

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 舌状花のキールの数（キール状品種に限る。）	03 3以上
36 舌状花の中間部の横断面の形	06 平
37 舌状花の中間部の横断面の形2	
38 舌状花の基部から3/4地点の横断面の形（中間部の横断面の形と異なる場合に限る。）	05 弱く内曲
39 舌状花の基部から3/4地点の横断面の形（中間部の横断面の形と異なる場合に限る。）2	
40 舌状花の周縁部の巻き方	05 弱い外巻き
41 舌状花の周縁が巻く部分の位置	07 先端部から1/4まで
42 舌状花の縦断面の形	03 外反
43 舌状花の縦方向の湾曲する位置	01 先端部から1/4
44 舌状花の湾曲の強弱	03 弱
45 舌状花のねじれの強弱	01 無又は極弱
46 舌状花の先端の形	01 尖り状
47 舌状花の表面の色数	02 2
48 舌状花の表面の主な色	RHSカラーチャート 34A
49 舌状花の表面の二次色（2色以上の品種に限る。）	RHSカラーチャート 62C
50 舌状花の表面の二次色の分布位置（2色以上の品種に限る。）	04 先端部3/4
51 舌状花の表面の二次色の分布位置（2色以上の品種に限る。）2	

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 舌状花の表面の二次色の型（2色以上の品種に限る。）	03 不明瞭な条
53 舌状花の表面の三次色（3色以上の品種に限る。）	
54 舌状花の表面の三次色の分布位置（3色以上の品種に限る。）	
55 舌状花の表面の三次色の分布位置（3色以上の品種に限る。） 2	
56 舌状花の表面の三次色の型（3色以上の品種に限る。）	
57 舌状花の表面の主な色と比較した裏面の色	01 類似する
58 舌状花の裏面の色（舌状花の表面と裏面の色が著しく異なる場合に限る。）	
59 頭花の直径に対する花盤の大きさ（一重品種及び半八重品種に限る。）	03 小
60 花盤の開やく前の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。）	07 紫褐
61 花盤の開やく前の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。） 2	
62 花盤の開やく時の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。）	05 橙
63 花盤の開やく時の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。） 2	
64 管状花の色（アネモネ型品種に限る。）	
65 副弁の色（コラレット型品種に限る。）	
66 頭花の花色の変化	01 無又は弱

1 品種登録の番号及び年月日 第29277号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Dahlia Cav. MYDAH006

3 登録品種の特性の概要

草姿は直立、草丈は中、茎の色は緑、葉の型は主に1回羽状複葉、葉軸の翼の強弱は中、葉の色は淡緑、小葉の形は楕円形、小葉の長さは長、小葉の周縁の鋸歯の数（裂片を除く。）は中、花柄の長さは極長、頭花の向きは半直立、頭花の型は八重、頭花の直径はかなり大、頭花の舌状花の粗密（八重品種に限る。）は中、舌状花の長さはやや長、舌状花の中間部の横断面の形は平、舌状花の先端の形は浅い切れ込み状、舌状花の表面の色数は1、舌状花の表面の主な色はNN155Cである。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「MYDAH006」は、対照品種「ミヨダリエロークォーツ」と比較して、頭花の直径がかなり大であること、頭花の舌状花の粗密（八重品種に限る。）が中であること等で区別性が認められる。対照品種「パールライト」と比較して、頭花の高さ（八重品種及び露心する八重品種に限る。）がやや低であること、頭花の舌状花の粗密（八重品種に限る。）が中であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

株式会社ミヨシ
東京都世田谷区八幡山2丁目1番8号

6 登録品種の育成をした者の氏名

天野良紀

7 出願公表の年月日 令和3年2月8日

8 登録品種の育成の経過の概要

（「セミカクタスローズ」×「ケノラマジスティック」）に（「ブライダルピンク」×「エオナG」）を交配し、選抜したものである。

Dahlia Cav.
MYDAH006

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草姿	01 直立
02 草丈	05 中
03 茎の色	01 緑
04 葉の型	03 主に1回羽状複葉
05 葉軸の翼の強弱	02 中
06 葉の長さ	06 やや長
07 葉の幅	07 広
08 葉の長さ／幅	01 極低
09 葉の色	01 淡緑
10 葉の光沢の強弱	05 中
11 葉の表面のしわの強弱	01 平滑又は極弱
12 葉の葉脈の凹凸	02 平
13 小葉の形	02 楕円形
14 小葉の長さ	07 長
15 小葉の幅	05 中
16 小葉の基部の形	01 鋭形
17 小葉の周縁の鋸歯の数（裂片を除く。）	05 中

Dahlia Cav.
MYDAH006

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 小葉の周縁の鋸歯の深さ（裂片を除く。）	07 深
19 花柄の長さ	09 極長
20 花柄の色	01 緑
21 葉群に対する頭花の位置	02 葉群と同等
22 頭花の向き	03 半直立
23 頭花の型	04 八重
24 頭花の花盤の型（一重品種及び半八重品種に限る。）	
25 頭花の副弁の有無	01 無
26 舌状花に対する副弁の長さ	
27 頭花の直径	08 かなり大
28 頭花の高さ（八重品種及び露心する八重品種に限る。）	04 やや低
29 頭花の舌状花の数（一重品種、半八重品種及び露心する八重品種に限る。）	
30 頭花の舌状花の粗密（八重品種に限る。）	05 中
31 舌状花の長さ	06 やや長
32 舌状花の幅	07 広
33 舌状花の長さ／幅	04 やや低
34 舌状花の表面の形状	03 キール状（竜骨突起）

Dahlia Cav.
MYDAH006

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 舌状花のキールの数（キール状品種に限る。）	03 3 以上
36 舌状花の中間部の横断面の形	06 平
37 舌状花の中間部の横断面の形2	
38 舌状花の基部から3/4地点の横断面の形（中間部の横断面の形と異なる場合に限る。）	09 強く外曲
39 舌状花の基部から3/4地点の横断面の形（中間部の横断面の形と異なる場合に限る。）2	
40 舌状花の周縁部の巻き方	04 平（巻かない）
41 舌状花の周縁が巻く部分の位置	
42 舌状花の縦断面の形	02 平
43 舌状花の縦方向の湾曲する位置	
44 舌状花の湾曲の強弱	
45 舌状花のねじれの強弱	01 無又は極弱
46 舌状花の先端の形	06 浅い切れ込み状
47 舌状花の表面の色数	01 1
48 舌状花の表面の主な色	RHSカラーチャート NN155C
49 舌状花の表面の二次色（2色以上の品種に限る。）	
50 舌状花の表面の二次色の分布位置（2色以上の品種に限る。）	
51 舌状花の表面の二次色の分布位置（2色以上の品種に限る。）2	

Dahlia Cav.
MYDAH006

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 舌状花の表面の二次色の型（2色以上の品種に限る。）	
53 舌状花の表面の三次色（3色以上の品種に限る。）	
54 舌状花の表面の三次色の分布位置（3色以上の品種に限る。）	
55 舌状花の表面の三次色の分布位置（3色以上の品種に限る。） 2	
56 舌状花の表面の三次色の型（3色以上の品種に限る。）	
57 舌状花の表面の主な色と比較した裏面の色	01 類似する
58 舌状花の裏面の色（舌状花の表面と裏面の色が著しく異なる場合に限る。）	
59 頭花の直径に対する花盤の大きさ（一重品種及び半八重品種に限る。）	
60 花盤の開やく前の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。）	
61 花盤の開やく前の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。） 2	
62 花盤の開やく時の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。）	
63 花盤の開やく時の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。） 2	
64 管状花の色（アネモネ型品種に限る。）	
65 副弁の色（コラレット型品種に限る。）	
66 頭花の花色の変化	01 無又は弱

1 品種登録の番号及び年月日 第29278号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Gentiana L. 岡山RND4号（オカヤマRND4ゴウ）

3 登録品種の特性の概要

草姿は立性、茎の長さは長、茎の緑色の濃淡は淡、茎のアントシアニン着色の有無は有、側枝の有無は有、茎の一節側枝発生数は極少、茎の二節以上の側枝発生数は極少、最長葉の着生位置は中央、葉の長さはやや長、葉の幅はやや広、葉の形は披針形、葉脈の数は3脈、葉の緑色の濃淡はやや濃、葉のアントシアニン着色の有無は無、花序の型は群生、花序の着生位置は頂部及び腋部、頂部の花の数（群生する品種に限る）はやや少、着花節数（頂部及び腋部に群生する品種に限る）は少、花型は一重、花冠の長さは中、花筒部の直径はやや小、花冠の形は釣鐘形、花冠の先端の直径はやや小、花冠の先端の反りは直、花冠裂片の表面の色は94A、花冠の内面上部の色は94C、花冠の外面上部の色は94A、花冠裂片の表面の斑点の粗密は粗、花冠の外面上部の斑点の粗密は中、花冠裂片の数は5、花冠裂片の長さはやや短、花冠裂片の幅はやや広、花冠裂片の形は卵形、花冠の副裂片の有無は有、がくのアントシアニン着色の有無は有、がく筒の長さは短、がく筒の直径はかなり小、がく筒の形は円筒形、やくの発達の状態は正常、開花期はかなり早である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「岡山RND4号」は、対照品種「ながの極早生」と比較して、花冠裂片の表面の色が94Aであること、花冠の外面上部の色が94Aであること等で区別性が認められる。対照品種「スカイブルーながの早生」と比較して、花冠裂片の表面の色が94Aであること、花冠の外面上部の色が94Aであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

岡山県
岡山県岡山市北区内山下二丁目4番6号

6 登録品種の育成をした者の氏名

藤本拓郎 林祐貴

7 出願公表の年月日 令和元年7月4日

8 登録品種の育成の経過の概要

出願者所有の育成系統をそれぞれ母系及び父系とする交雑品種である。

Gentiana L.
岡山RND4号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草姿	01 立性
02 茎の長さ	07 長
03 茎の太さ	05 中
04 茎の横断面の形	01 円形
05 茎の緑色の濃淡	03 淡
06 茎のアントシアニン着色の有無	09 有
07 茎の節数	05 中
08 節間長	05 中
09 側枝の有無	09 有
10 茎の一節側枝発生数	01 極少
11 茎の二節以上の側枝発生数	01 極少
12 最長葉の着生位置	02 中央
13 葉の長さ	06 やや長
14 葉の幅	06 やや広
15 葉の形	04 披針形
16 葉の横断面の形	01 内曲
17 葉の縦断面の形	02 水平

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29278号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
18 葉のねじれの有無	01 無
19 葉脈の数	02 3脈
20 葉の緑色の濃淡	06 やや濃
21 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
22 花序の型	02 群生
23 花序の着生位置	02 頂部及び腋部
24 頂部の花の数（群生する品種に限る）	04 やや少
25 着花中央節の花の数（頂部及び腋部に群生する品種に限る）	03 少
26 着花節数（頂部及び腋部に群生する品種に限る）	03 少
27 花型	01 一重
28 花冠の長さ	05 中
29 花筒部の直径	04 やや小
30 花冠の形	01 釣鐘形
31 花冠の先端の直径	04 やや小
32 花冠の先端の反り	05 直
33 花冠裂片の表面の色	JHSカラーチャート 94A
34 花冠の内面上部の色	JHSカラーチャート 94C

Gentiana L.
岡山RND4号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 花冠の外面上部の色	JHSカラーチャート 94A
36 花冠裂片の表面の斑点の粗密	03 粗
37 花冠の内面上部の斑点の粗密	01 無又は極粗
38 花冠の外面上部の斑点の粗密	05 中
39 花冠の外面のしま模様の有無	01 無
40 花冠の外面のしま模様の色	
41 花冠裂片の数	02 5
42 花冠裂片の長さ	04 やや短
43 花冠裂片の幅	06 やや広
44 花冠裂片の形	04 卵形
45 花冠裂片の先端の形	02 鈍形
46 花冠の副裂片の有無	09 有
47 花冠の副裂片の先端の形	01 鋭形
48 がくの緑色の濃淡	03 淡
49 がくのアントシアニン着色の有無	09 有
50 がく筒の長さ	03 短
51 がく筒の直径	02 かなり小

Gentiana L.
岡山RND4号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 がく筒の形 53 がく裂片の形 54 やくの発達の状態 55 やくの形 56 開花期 57 弱光下における閉花性	01 円筒形
	01 狭披針形
	03 正常
	02 へら形
	02 かなり早
	03 弱

1 品種登録の番号及び年月日 第29279号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Gentiana L. Bzc-1

3 登録品種の特性の概要

草姿は立性、茎の長さは短、茎の緑色の濃淡は淡、茎のアントシアニン着色の有無は有、側枝の有無は有、茎の一節側枝発生数は極少、茎の二節以上の側枝発生数はやや少、最長葉の着生位置は上1/3、葉の長さはやや短、葉の幅は中、葉の形は卵形、葉脈の数は3脈、葉の緑色の濃淡は濃、葉のアントシアニン着色の有無は無、花序の型は単生、花序の着生位置は頂部及び腋部、花型は一重、花冠の長さはやや長、花筒部の直径はやや大、花冠の形は釣鐘形、花冠の先端の直径は大、花冠の先端の反りは外反、花冠裂片の表面の色は94A、花冠の内面上部の色は94A、花冠の外面上部の色は94C、花冠裂片の表面の斑点の粗密はかなり粗、花冠の外面上部の斑点の粗密は粗、花冠裂片の数は5、花冠裂片の長さはやや長、花冠裂片の幅はやや広、花冠裂片の形は卵形、花冠の副裂片の有無は有、がくのアントシアニン着色の有無は有、がく筒の長さは中、がく筒の直径は中、がく筒の形は円筒形、やくの発達の状態は正常、開花期は中である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「Bzc-1」は、対照品種「シャインブルー アシロ」と比較して、葉の形が卵形であること、花冠の先端の直径が大であること等で区別性が認められる。対照品種「Galaxy blue」と比較して、花冠の外面のしま模様の有無が有であること、開花期が中であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

岩手県
岩手県盛岡市内丸10番1号

6 登録品種の育成をした者の氏名

川村浩美 中里崇 内藤善美 小澤傑

7 出願公表の年月日 令和2年9月16日

8 登録品種の育成の経過の概要

出願者所有の系統どうしを交配し、選抜したものである。

Gentiana L.

Bzc-1

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草姿	01 立性
02 茎の長さ	03 短
03 茎の太さ	03 細
04 茎の横断面の形	01 円形
05 茎の緑色の濃淡	03 淡
06 茎のアントシアニン着色の有無	09 有
07 茎の節数	02 かなり少
08 節間長	04 やや短
09 側枝の有無	09 有
10 茎の一節側枝発生数	01 極少
11 茎の二節以上の側枝発生数	04 やや少
12 最長葉の着生位置	01 上1/3
13 葉の長さ	04 やや短
14 葉の幅	05 中
15 葉の形	02 卵形
16 葉の横断面の形	02 水平
17 葉の縦断面の形	03 外反

Gentiana L.

Bzc-1

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 葉のねじれの有無	01 無
19 葉脈の数	02 3脈
20 葉の緑色の濃淡	07 濃
21 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
22 花序の型	01 単生
23 花序の着生位置	02 頂部及び腋部
24 頂部の花の数（群生する品種に限る）	
25 着花中央節の花の数（頂部及び腋部に群生する品種に限る）	
26 着花節数（頂部及び腋部に群生する品種に限る）	
27 花型	01 一重
28 花冠の長さ	06 やや長
29 花筒部の直径	06 やや大
30 花冠の形	01 釣鐘形
31 花冠の先端の直径	07 大
32 花冠の先端の反り	07 外反
33 花冠裂片の表面の色	JHSカラーチャート 94A
34 花冠の内面上部の色	JHSカラーチャート 94A

Gentiana L.

Bzc-1

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29279号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
35 花冠の外面上部の色	JHSカラーチャート 94C
36 花冠裂片の表面の斑点の粗密	02 かなり粗
37 花冠の内面上部の斑点の粗密	03 粗
38 花冠の外面上部の斑点の粗密	03 粗
39 花冠の外面のしま模様の有無	09 有
40 花冠の外面のしま模様の色	01 白
41 花冠裂片の数	02 5
42 花冠裂片の長さ	06 やや長
43 花冠裂片の幅	06 やや広
44 花冠裂片の形	04 卵形
45 花冠裂片の先端の形	01 鋭形
46 花冠の副裂片の有無	09 有
47 花冠の副裂片の先端の形	04 中裂形
48 がくの緑色の濃淡	05 中
49 がくのアントシアニン着色の有無	09 有
50 がく筒の長さ	05 中
51 がく筒の直径	05 中

Gentiana L.

Bzc-1

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 7 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 がく筒の形 53 がく裂片の形 54 やくの発達の状態 55 やくの形 56 開花期 57 弱光下における閉花性	01 円筒形
	01 狭披針形
	03 正常
	02 へら形
	05 中
	03 弱

1 品種登録の番号及び年月日 第29280号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Glycine max (L.) Merr. ふくあかね

3 登録品種の特性の概要

胚軸のアントシアニン着色の有無は無、伸育型は有限、分枝の数は中、茎の毛じの色は白、茎の長さは長、茎の節数はやや多、側小葉の形は鋭先卵形、花の色は白、最下着きょう節位の高さは中、裂きょうの難易はやや易、熟さやの色の濃淡は中、子実の大きさ（一般群の品種に限る。）はかなり大、子実の形は偏球、種皮の色数は1色、種皮の地色は褐赤、子実のへその色は暗褐、子実の子葉の色は黄、開花始期はやや晩、成熟期は晩、生態型は秋大豆型、粗タンパク含有率はやや高である。

出願品種「ふくあかね」は、対照品種「クロダマル」と比較して、茎の長さが長であること、種皮の地色が褐赤であること等で区別性が認められる。対照品種「フクユタカ」と比較して、茎の長さが長であること、種皮の地色が褐赤であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
茨城県つくば市観音台三丁目1番地1

6 登録品種の育成をした者の氏名

高橋将一 大木信彦 高橋幹 中澤芳則 河野雄飛 小松邦彦

7 出願公表の年月日 平成30年6月18日

8 登録品種の育成の経過の概要

「竹田在来87E」に「九交980-11」を交配し、選抜したものである。

Glycine max (L.) Merr.
ふくあかね

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 胚軸のアントシアニン着色の有無	01 無
02 胚軸のアントシアニン着色の強弱	
03 伸育型	01 有限
04 分枝の数	05 中
05 草姿	
06 茎の毛じの色	01 白
07 茎の長さ	07 長
08 茎の節数	06 やや多
09 葉の表面の凹凸の強弱	
10 小葉の数	01 3枚葉
11 側小葉の形	03 鋭先卵形
12 側小葉の大きさ	
13 葉の緑色の濃淡	
14 花の色	01 白
15 最下着きょう節位の高さ	05 中
16 着きょう密度（枝豆用品種に限る。）	
17 若さやの緑色の濃淡（枝豆用品種に限る。）	

Glycine max (L.) Merr.
ふくあかね

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 若さやの長さ（枝豆用品種に限る。）	
19 若さやの幅（枝豆用品種に限る。）	
20 湯煮(ブランチング)後のさやの色（枝豆用品種に限る。）	
21 多粒さや率（枝豆用品種に限る。）	
22 さやの数	03 少
23 裂きょうの難易	04 やや易
24 熟さやの色の濃淡	05 中
25 子実の大きさ（一般群の品種に限る。）	08 かなり大
26 子実の大きさ（極大群の品種に限る。）	
27 子実の形	02 偏球
28 種皮の色数	01 1色
29 種皮の地色	05 褐赤
30 種皮の二次色（2色以上の品種に限る。）	
31 種皮のパーオキシダーゼによる着色の有無	
32 子実のへその色	05 暗褐
33 胎座残の色	
34 子実の子葉の色	01 黄

Glycine max (L.) Merr.
ふくあかね

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29280号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
35 開花始期	06 やや晩
36 成熟期	07 晩
37 生態型	03 秋大豆型
38 粗タンパク含有率	06 やや高
39 7Sタンパク質サブユニットの有無	
40 リボキシゲナーゼアイソザイムの有無	
41 ヘソ周辺の着色抵抗性	
42 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (A系統)	03 抵抗性
43 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (A2系統)	
44 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (B系統)	03 抵抗性
45 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (C系統)	01 感受性 (モザイク)
46 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (D系統)	01 感受性 (モザイク)
47 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (E系統)	
48 ダイズシストセンチュウ抵抗性 (レース1)	
49 ダイズシストセンチュウ抵抗性 (レース3)	02 かなり弱
50 ハスモンヨトウ抵抗性 (抗生性)	
51 ハスモンヨトウ抵抗性 (非選好性)	

1 品種登録の番号及び年月日 第29281号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Glycine max (L.) Merr. とよまどか

3 登録品種の特性の概要

胚軸のアントシアニン着色の有無は有、伸育型は有限、分枝の数は中、茎の毛じの色は白、茎の長さはやや短、茎の節数は少、側小葉の形は鋭先卵形、花の色は紫、最下着きょう節位の高さはやや高、裂きょうの難易はかなり難、熟さやの色の濃淡は中、子実の大きさ（一般群の品種に限る。）はやや大、子実の形は球、種皮の色数は1色、種皮の地色は黄白、子実のへその色は黄、子実の子葉の色は黄、開花始期はやや早、成熟期はやや早、生態型は夏大豆型、粗タンパク含有率はやや低である。

出願品種「とよまどか」は、対照品種「とよみづき」と比較して、粗タンパク含有率がやや低であること、へそ周辺の着色抵抗性がやや弱であること等で区別性が認められる。対照品種「ユキホマレ」と比較して、種皮のパーオキシダーゼによる着色の有無が有であること、へそ周辺の着色抵抗性がやや弱であること等で区別性が認められる。対照品種「トヨムスメ」と比較して、茎の長さがやや短であること、裂きょうの難易がかなり難であること、成熟期がやや早であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
北海道札幌市北区北十九条西十一丁目1番地8

6 登録品種の育成をした者の氏名

鴻坂扶美子 鈴木千賀 小林聡 山口直矢 藤田正平 品田博史
三好智明 萩原誠司 黒崎英樹 青山聡 奥山昌隆 山下陽子 中道浩司

7 出願公表の年月日 平成30年10月25日

8 登録品種の育成の経過の概要

「十育250号」に「とよみづき」を交配し、選抜したものである。

Glycine max (L.) Merr.

とよまどか

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 1 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 胚軸のアントシアニン着色の有無	09 有
02 胚軸のアントシアニン着色の強弱	05 中
03 伸育型	01 有限
04 分枝の数	05 中
05 草姿	
06 茎の毛じの色	01 白
07 茎の長さ	04 やや短
08 茎の節数	03 少
09 葉の表面の凹凸の強弱	
10 小葉の数	01 3枚葉
11 側小葉の形	03 鋭先卵形
12 側小葉の大きさ	
13 葉の緑色の濃淡	
14 花の色	02 紫
15 最下着きょう節位の高さ	06 やや高
16 着きょう密度（枝豆用品種に限る。）	
17 若さやの緑色の濃淡（枝豆用品種に限る。）	

Glycine max (L.) Merr.

とよまどか

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 1 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 若さやの長さ（枝豆用品種に限る。）	
19 若さやの幅（枝豆用品種に限る。）	
20 湯煮(ブランチング)後のさやの色（枝豆用品種に限る。）	
21 多粒さや率（枝豆用品種に限る。）	
22 さやの数	05 中
23 裂きょうの難易	08 かなり難
24 熟さやの色の濃淡	05 中
25 子実の大きさ（一般群の品種に限る。）	06 やや大
26 子実の大きさ（極大群の品種に限る。）	
27 子実の形	01 球
28 種皮の色数	01 1色
29 種皮の地色	01 黄白
30 種皮の二次色（2色以上の品種に限る。）	
31 種皮のパーオキシダーゼによる着色の有無	09 有
32 子実のへその色	02 黄
33 胎座残の色	
34 子実の子葉の色	01 黄

Glycine max (L.) Merr.

とよまどか

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 1 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 開花始期	04 やや早
36 成熟期	04 やや早
37 生態型	01 夏大豆型
38 粗タンパク含有率	04 やや低
39 7Sタンパク質サブユニットの有無	
40 リボキシゲナーゼアイソザイムの有無	
41 ヘソ周辺の着色抵抗性	04 やや弱
42 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (A系統)	
43 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (A2系統)	
44 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (B系統)	
45 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (C系統)	
46 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (D系統)	
47 ダイズモザイクウイルス抵抗性 (E系統)	
48 ダイズシストセンチュウ抵抗性 (レース1)	04 やや弱
49 ダイズシストセンチュウ抵抗性 (レース3)	08 かなり強
50 ハスモンヨトウ抵抗性 (抗生性)	
51 ハスモンヨトウ抵抗性 (非選好性)	

1 品種登録の番号及び年月日 第29282号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Hordeum L. もちしずか

3 登録品種の特性の概要

草姿は中間、稈の長さはやや長、出穂期は中、穂のろう質の多少はやや少、草丈はやや長、穂の条数は3以上、穂の形は平行、穂の長さは中、芒の長さは長、うるち・もちの別はもち、穂発芽性は難、千粒重(原麦粒)は中、まき性は春まき性である。

出願品種「もちしずか」は、対照品種「シュンライ」と比較して、穀粒の外穎のアントシアニン着色の強弱が強であること、うるち・もちの別がもちであること、千粒重(原麦粒)が中であること等で区別性が認められる。対照品種「ファイバースノウ」と比較して、穀粒の外穎のアントシアニン着色の強弱が強であること、うるち・もちの別がもちであること、千粒重(原麦粒)が中であること、まき性が春まき性であること等で区別性が認められる。対照品種「ミノリムギ」と比較して、穀粒の外穎のアントシアニン着色の強弱が強であること、うるち・もちの別がもちであること、まき性が春まき性であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
茨城県つくば市観音台三丁目1番地1

6 登録品種の育成をした者の氏名

谷口 義則 伊藤 裕之 平 将人 池永 幸子 中村 和弘
前島 秀和 中村 俊樹 中丸 観子 氷見 英子 高山 敏之

7 出願公表の年月日 平成31年2月26日

8 登録品種の育成の経過の概要

「東山皮糯104号」に「盛系C-177a」を交配し、選抜したものである。

Hordeum L.
もちしずか

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 2 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草姿	05 中間
02 稈の長さ	06 やや長
03 葉しょうの毛の有無	09 有
04 止め葉の葉耳のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
05 植物体の反曲した止め葉の多少	
06 止め葉の葉しょう表面のろう質の多少	07 多
07 出穂期	05 中
08 芒の先端のアントシアニン着色の強弱	03 弱
09 開閉花受粉性	01 開花受粉性
10 穂のろう質の多少	04 やや少
11 穂の向き	01 立
12 草丈	06 やや長
13 穂の条数	02 3以上
14 穂の形	05 平行
15 穂の粒着の粗密	06 やや密
16 穂の長さ	05 中
17 芒の長さ	07 長

Hordeum L.
もちしずか

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 2 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 穂軸の長さ	
19 穂軸の曲がりの強弱	01 無又は極弱
20 穂の不稔小穂の発育	
21 不稔小穂の向き	
22 穀粒に比べた中央小穂の芒を含む護穎の長さ	03 長
23 穀粒の小穂軸の毛の型	02 長
24 穀粒のふの有無	09 有
25 穀粒の外穎のアントシアニン着色の強弱	07 強
26 穀粒の外穎背面内側面の脈沿いの突起の多少	03 少
27 穀粒の縦溝の毛の有無	01 無
28 穀粒のりん皮の着き方	02 抱え
29 穀粒の糊粉層の色	
30 うるち・もちの別	02 もち
31 穂発芽性	07 難
32 千粒重(原麦粒)	05 中
33 まき性	03 春まき性
34 穀粒硬度	

Hordeum L.
もちしずか

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 2 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 麦芽エキスの多少（ビール用品種に限る。）	
36 コールバツハ数（ビール用品種に限る。）	
37 ジアスターゼ力（ビール用品種に限る。）	
38 穀粒のプロアントシアニジンの有無	
39 穀粒のリポキシゲナーゼ（lox）活性の有無	
40 β グルカン含量	06 やや多
41 D-ホルデインのHor-3座の遺伝子の発現	
42 C-ホルデインのHor-1座の遺伝子の発現1	
43 C-ホルデインのHor-1座の遺伝子の発現2	
44 B-ホルデインのHor-2座の遺伝子の発現1	
45 B-ホルデインのHor-2座の遺伝子の発現2	
46 B-ホルデインのHor-2座の遺伝子の発現3	

1 品種登録の番号及び年月日 第29283号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Lentinula edodes (Berk.) Pegler CA901

3 登録品種の特性の概要

菌糸体の生長最適温度は25℃、菌糸体の温度別成長速度（10℃ C/日）はやや遅、菌糸体の温度別成長速度（15℃ C/日）は中、菌糸体の温度別成長速度（20℃ C/日）はやや遅、菌糸体の温度別生長速度（25℃/日）はやや遅、菌糸体の温度別生長速度（30℃/日）は速、菌さんの縦断面形は平形、菌さんの大きさは小、菌さん表面の地色は褐色、菌さんの厚さは薄、菌さんの硬さは硬、りん皮の付着部位は周縁、りん皮の大きさはかなり小、りん皮の着色の有無は有、ひだの形は離柄三角形、ひだの並び方は波状・ちぢれ、ひだの幅はかなり狭、ひだの密度は密、ひだの色は淡黄橙色、菌柄の形は基部に向かって太い、菌柄の長さは短、菌柄の太さは中、菌柄の表面の着色の有無は有、菌柄の毛羽の密度は中、菌柄の毛羽の着色の有無は有、菌柄の硬さは硬、菌柄の色は淡橙色、菌さん直径の菌柄の長さに対する比は中、子実体の平均乾燥重量はかなり軽、発生処理までの期間はかなり短、発生処理から収穫最盛期までの期間はかなり短である。

出願品種「CA901」は、対照品種「KA-2050号」と比較して、菌さんの大きさが小であること、菌さんの厚さが薄であること、りん皮の大きさがかなり小であること、発生処理までの期間がかなり短であること、発生処理から収穫最盛期までの期間がかなり短であること等で区別性が認められる。対照品種「HS73」と比較して、菌糸体の温度別生長速度（30℃/日）が速であること、菌さんの大きさが小であること、菌さんの厚さが薄であること、ひだの並び方が波状・ちぢれであること、ひだのちぢれ割合（率）が極多であること、菌柄の長さが短であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

株式会社北研
栃木県下都賀郡壬生町駅東町7番3号

6 登録品種の育成をした者の氏名

後藤史和 後藤多佳子 佐々木洋介 菅澤春美 関谷暢 山内隆弘

7 出願公表の年月日 令和元年11月19日

8 登録品種の育成の経過の概要

「HS788」と「HL8516」を交配し、選抜したものである。

Lentinula edodes (Berk.) Pegler
CA901

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29283号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
01 菌糸密度	03 粗
02 菌叢表面の着色の有無	01 無
03 菌糸体の生長最適温度	05 25℃
04 菌糸体の温度別成長速度 (10° C/日)	04 やや遅
05 菌糸体の温度別成長速度 (15° C/日)	05 中
06 菌糸体の温度別成長速度 (20° C/日)	04 やや遅
07 菌糸体の温度別生長速度 (25℃/日)	04 やや遅
08 菌糸体の温度別生長速度 (30℃/日)	07 速
09 菌さんの縦断面形	02 平形
10 菌さんの大きさ	03 小
11 菌さん表面の地色	03 褐色
12 菌さんの厚さ	03 薄
13 菌さんの直径／厚さ	04 やや小
14 菌さんの硬さ	03 硬
15 りん皮の付着部位	02 周縁
16 りん皮の大きさ	02 かなり小
17 りん皮の着色の有無	09 有

Lentinula edodes (Berk.) Pegler
CA901

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29283号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
18 ひだの有無	09 有
19 ひだの形	01 離柄三角形
20 ひだの並び方	02 波状・ちぢれ
21 ひだのちぢれ割合（率）	05 極多
22 ひだの幅	02 かなり狭
23 ひだの密度	03 密
24 ひだの色	03 淡黄橙色
25 菌柄の形	01 基部に向かって太い
26 菌柄の長さ	03 短
27 菌柄の太さ	05 中
28 菌柄の表面の着色の有無	09 有
29 菌柄の毛羽の密度	02 中
30 菌柄の毛羽の着色の有無	09 有
31 菌柄の硬さ	05 硬
32 菌柄の色	02 淡橙色
33 菌さん直径の菌柄の長さに対する比	05 中
34 子実体の平均乾燥重量	02 かなり軽

Lentinula edodes (Berk.) Pegler
CA901

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 3 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 発生処理までの期間 36 発生処理から収穫最盛期までの期間	02 かなり短
	02 かなり短

1 品種登録の番号及び年月日 第29284号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Lentinula edodes (Berk.) Pegler CA902

3 登録品種の特性の概要

菌糸体の生長最適温度は25℃、菌糸体の温度別成長速度（10℃ C/日）はやや遅、菌糸体の温度別成長速度（15℃ C/日）はやや遅、菌糸体の温度別成長速度（20℃ C/日）はやや遅、菌糸体の温度別生長速度（25℃/日）はやや遅、菌糸体の温度別生長速度（30℃/日）はやや速、菌さんの縦断面形は平形、菌さんの大きさは中、菌さん表面の地色は褐色、菌さんの厚さは中、菌さんの硬さは硬、りん皮の付着部位は周縁、りん皮の大きさはかなり小、りん皮の着色の有無は有、ひだの形は離柄三角形、ひだの並び方は波状・ちぢれ、ひだの幅はかなり狭、ひだの密度は密、ひだの色は淡黄橙色、菌柄の形は菌さんに向かって太い、菌柄の長さはやや短、菌柄の太さはかなり太、菌柄の表面の着色の有無は有、菌柄の毛羽の密度は中、菌柄の毛羽の着色の有無は有、菌柄の硬さは硬、菌柄の色は淡橙色、菌さん直径の菌柄の長さに対する比はやや大、子実体の平均乾燥重量は中、発生処理までの期間は短、発生処理から収穫最盛期までの期間はかなり短である。

出願品種「CA902」は、対照品種「HS607」と比較して、ひだの並び方が波状・ちぢれであること、ひだのちぢれ割合（率）が極多であること、菌柄の形が菌さんに向かって太いであること等で区別性が認められる。対照品種「HS73」と比較して、ひだの並び方が波状・ちぢれであること、ひだのちぢれ割合（率）が極多であること、ひだの幅がかなり狭であること、ひだの密度が密であること、菌柄の形が菌さんに向かって太いであること、菌柄の長さがやや短であること、子実体の平均乾燥重量が中であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

株式会社北研
栃木県下都賀郡壬生町駅東町7番3号

6 登録品種の育成をした者の氏名

後藤史和 後藤多佳子 佐々木洋介 菅澤春美 関谷暢 山内隆弘

7 出願公表の年月日 令和元年11月19日

8 登録品種の育成の経過の概要

「HS788」と「HL8516」を交配し、選抜したものである。

Lentinula edodes (Berk.) Pegler
CA902

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 4 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 菌糸密度	04 やや粗
02 菌叢表面の着色の有無	01 無
03 菌糸体の生長最適温度	05 25℃
04 菌糸体の温度別成長速度 (10° C/日)	04 やや遅
05 菌糸体の温度別成長速度 (15° C/日)	04 やや遅
06 菌糸体の温度別成長速度 (20° C/日)	04 やや遅
07 菌糸体の温度別生長速度 (25℃/日)	04 やや遅
08 菌糸体の温度別生長速度 (30℃/日)	06 やや速
09 菌さんの縦断面形	02 平形
10 菌さんの大きさ	05 中
11 菌さん表面の地色	03 褐色
12 菌さんの厚さ	05 中
13 菌さんの直径／厚さ	04 やや小
14 菌さんの硬さ	03 硬
15 りん皮の付着部位	02 周縁
16 りん皮の大きさ	02 かなり小
17 りん皮の着色の有無	09 有

Lentinula edodes (Berk.) Pegler
CA902

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29284号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
18 ひだの有無	09 有
19 ひだの形	01 離柄三角形
20 ひだの並び方	02 波状・ちぢれ
21 ひだのちぢれ割合（率）	05 極多
22 ひだの幅	02 かなり狭
23 ひだの密度	03 密
24 ひだの色	03 淡黄橙色
25 菌柄の形	03 菌さんに向かって太い
26 菌柄の長さ	04 やや短
27 菌柄の太さ	08 かなり太
28 菌柄の表面の着色の有無	09 有
29 菌柄の毛羽の密度	02 中
30 菌柄の毛羽の着色の有無	09 有
31 菌柄の硬さ	05 硬
32 菌柄の色	02 淡橙色
33 菌さん直径の菌柄の長さに対する比	06 やや大
34 子実体の平均乾燥重量	05 中

Lentinula edodes (Berk.) Pegler
CA902

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 4 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 発生処理までの期間 36 発生処理から収穫最盛期までの期間	03 短
	02 かなり短

1 品種登録の番号及び年月日 第29285号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Malus Mill. やまくら3号 (ヤマクラ3ゴウ)

3 登録品種の特性の概要

樹勢は弱、樹の型は分枝型、樹姿（分枝型品種に限る。）は開張、枝の太さはやや太、節間長はかなり短、皮目の多少は中、葉身の長さはやや短、葉身の長さ／幅は中、葉身の緑色の濃淡は濃、葉柄の長さは中、つぼみの色は濃桃、花の大きさは中、果実の大きさは中、果実の形は長円錐形、果実の王冠の強弱は無又は弱、果実のがくの開閉は小、果皮のろう質の多少は無又は少、果面の粗滑は粗、果皮の地色は黄、果皮を被う色の面積はかなり小、果皮を被う色は橙赤、果皮を被う色の濃淡は淡、果皮を被う色の型は不明瞭なし模様を伴った全面着色、梗あ周辺のさびの量は大、果実側面のさびの量は大、がくあ周辺のさびの量是中、果点の数は中、果点の大きさは大、スカーフスキンの多少は無、果柄の長さは中、果柄の太さはやや細、梗あのは深さは深、梗あのは幅は広、がくあのは深さは中、がくあのは幅は中、果肉の硬さは中、果肉の色は帯黄、果実の甘味はかなり高、果実の酸味は低、果実の蜜の多少は多、果心の形は円錐形、開花始期は中、収穫期は晩である。

出願品種「やまくら3号」は、対照品種「ぐんま名月」と比較して、果皮を被う色の面積がかなり小であること、果実側面のさびの量が大であること等で区別性が認められる。対照品種「ふじ」と比較して、果皮を被う色の面積がかなり小であること、果皮を被う色が橙赤であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 30年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

永井三藏
群馬県利根郡片品村大字針山278番地

6 登録品種の育成をした者の氏名

永井三藏

7 出願公表の年月日 令和元年6月11日

8 登録品種の育成の経過の概要

「早生系ふじ」の自然交雑実生である。

Malus Mill.
やまくら3号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 5 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 樹勢	03 弱
02 樹の型	02 分枝型
03 樹姿（分枝型品種に限る。）	02 開張
04 結実の型	02 短果枝及び長果枝
05 枝の太さ	06 やや太
06 節間長	02 かなり短
07 枝の色	04 褐
08 枝の毛じの粗密	05 中
09 皮目の多少	05 中
10 葉身の向き	02 水平
11 葉身の長さ	04 やや短
12 葉身の幅	04 やや狭
13 葉身の長さ／幅	05 中
14 葉身の緑色の濃淡	07 濃
15 葉身の周縁の鋸歯の形	02 複鈍鋸歯
16 葉身の裏面の毛じの粗密	02 中
17 葉柄の長さ	05 中

Malus Mill.
やまくら3号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 5 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 葉柄のアントシアニン着色の広がり	05 中
19 つぼみの色	04 濃桃
20 花の大きさ	05 中
21 花弁の重なり	03 重なる
22 花柱の位置	01 下位
23 幼果のアントシアニン着色の広がり	05 中
24 果実の大きさ	05 中
25 果実の長さ	05 中
26 果実の幅	05 中
27 果実の長さ／幅	05 中
28 果実の形	03 長円錐形
29 果実の角張りの強弱	01 無又は弱
30 果実の王冠の強弱	01 無又は弱
31 果実のがくの開閉	03 小
32 果実のがくの長さ	05 中
33 果粉の多少	01 無又は少
34 果皮のろう質の多少	01 無又は少

Malus Mill.
やまくら3号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 5 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 果面の粗滑	07 粗
36 果皮の地色	03 黄
37 果皮を被う色の面積	02 かなり小
38 果皮を被う色	01 橙赤
39 果皮を被う色の濃淡	03 淡
40 果皮を被う色の型	02 不明瞭なしま模様を伴った全面着色
41 果皮のしまの幅	05 中
42 果皮のしま模様の明瞭度	02 かなり弱
43 梗あ周辺のさびの量	03 大
44 果実側面のさびの量	03 大
45 がくあ周辺のさびの量	02 中
46 果点の数	05 中
47 果点の大きさ	07 大
48 スカーフスキンの多少	01 無
49 果柄の長さ	05 中
50 果柄の太さ	04 やや細
51 梗あの深さ	07 深

Malus Mill.
やまくら3号

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29285号	
重　　要　　な　　形　　質	重要な形質に係る特性
52 梗あいの幅	07 広
53 がくあいの深さ	05 中
54 がくあいの幅	05 中
55 果肉の硬さ	05 中
56 果肉の色	03 帯黄
57 果実の甘味	08 かなり高
58 果実の酸味	03 低
59 果実の蜜の多少	07 多
60 果心の形	04 円錐形
61 果実の子室の型	03 広く開く
62 開花始期	05 中
63 収穫期	07 晩
64 普通貯蔵の貯蔵性	
65 冷蔵貯蔵の貯蔵性	
66 斑点落葉病抵抗性	

1 品種登録の番号及び年月日 第29286号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Oryza sativa L. SC早生1号 (SCワセ1コウ)

3 登録品種の特性の概要

葉の緑色の濃淡は中、葉耳のアントシアニン着色の有無は無、初期の止め葉の姿勢は半立、出穂期は極早、柱頭の色は白、稈の太さはやや細、稈の長さ（浮稲品種を除く。）はかなり短、穂の主軸の長さはやや短、穂数は中、芒の有無は有、初期の芒の色は黄白、芒の分布は上3/4のみ、最長芒の長さは短、外穎の毛じは中、外穎先端の色は白、穂の主軸の湾曲度は垂れる、穂型は紡錘形、穂の抽出度は穂軸もよく抽出、成熟期はかなり早、穎の色は黄白、護穎の長さは中、護穎の色は黄白、粳の千粒重はやや小、穎のフェノール反応の有無は無、玄米の千粒重はやや小、玄米の長さは中、玄米の幅は中、玄米の形は長円形、玄米の色は淡褐、胚乳の型は粳、胚乳のアミロース含量は5型、玄米の香りは無又は極弱、穂発芽性はやや難、脱粒性は難、着粒密度はやや密である。

出願品種「SC早生1号」は、対照品種「コシヒカリつくばHD1号」と比較して、稈の長さ（浮稲品種を除く。）がかなり短であること等で区別性が認められる。対照品種「新潟次郎」と比較して、初期の止め葉の姿勢が半立であること、稈の長さ（浮稲品種を除く。）がかなり短であること、穂発芽性がやや難であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

住友化学株式会社
東京都中央区日本橋二丁目7番1号

6 登録品種の育成をした者の氏名

岡洋一 谷本怜

7 出願公表の年月日 平成30年9月19日

8 登録品種の育成の経過の概要

「コシヒカリつくばHD1号」に「コシヒカリつくばSD1号」を交配し、選抜したものである。

Oryza sativa L.
SC早生1号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 しょう葉のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
02 基部葉の葉しょうの色	01 緑
03 葉の緑色の濃淡	05 中
04 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
05 葉のアントシアニン着色の分布	
06 葉しょうのアントシアニン着色の有無	01 無
07 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	
08 葉身表面の毛じ	05 中
09 葉耳のアントシアニン着色の有無	01 無
10 葉の襟のアントシアニン着色の有無	01 無
11 葉舌の形	03 裂形
12 葉舌の色	01 無色
13 葉身の長さ	04 やや短
14 葉身の幅	05 中
15 初期の止め葉の姿勢	03 半立
16 後期の止め葉の姿勢	03 半立
17 稈の向き	03 半立

Oryza sativa L.
SC早生1号

登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部		登 録 番 号
重 要 な 形 質		第 2 9 2 8 6 号
18 稈のひざまずきの有無（浮稲品種に限る。）		
19 出穂期	01 極早	
20 雄性不稔性		
21 初期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱	
22 初期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱	
23 初期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱	
24 柱頭の色	01 白	
25 稈の太さ	04 やや細	
26 稈の長さ（浮稲品種を除く。）	02 かなり短	
27 稈の節のアントシアニン着色の有無	01 無	
28 稈の節のアントシアニン着色の強弱		
29 稈の節間のアントシアニン着色の有無	01 無	
30 穂の主軸の長さ	04 やや短	
31 穂数	05 中	
32 芒の有無	09 有	
33 初期の芒の色	01 黄白	
34 芒の分布	04 上3/4のみ	

Oryza sativa L.
SC早生1号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 最長芒の長さ	02 短
36 外穎の毛じ	05 中
37 外穎先端の色	01 白
38 後期の芒の色	01 黄白
39 穂の主軸の湾曲度	03 垂れる
40 穂の二次枝梗の有無	09 有
41 穂の二次枝梗の型	02 2型
42 穂型	02 紡錘形
43 穂の抽出度	09 穂軸もよく抽出
44 成熟期	02 かなり早
45 葉の枯れ上がりの時期	07 晩
46 穎の色	01 黄白
47 穎の模様	01 無
48 後期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
49 後期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
50 後期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
51 護穎の長さ	05 中

Oryza sativa L.
SC早生1号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 護穎の色	01 黄白
53 粳の千粒重	04 やや小
54 粳の長さ	05 中
55 粳の幅	05 中
56 穎のフェノール反応の有無	01 無
57 穎のフェノール反応による着色の濃淡	
58 玄米の千粒重	04 やや小
59 玄米の長さ	05 中
60 玄米の幅	05 中
61 玄米の形	02 長円形
62 玄米の色	02 淡褐
63 胚乳の型	03 粳
64 胚乳のアミロース含量	05 5型
65 胚乳の色	02 白色半透明
66 精米のアルカリ崩壊性	06 中間～完全崩壊
67 玄米の香り	01 無又は極弱
68 低温発芽性（陸稲品種に限る。）	

Oryza sativa L.
SC早生1号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
69 障害型耐冷性	
70 穂発芽性	06 やや難
71 耐倒伏性	
72 脱粒性	07 難
73 いもち病抵抗性推定遺伝子型	
74 葉いもちほ場抵抗性	
75 穂いもちほ場抵抗性	
76 白葉枯病抵抗性品種群別	
77 白葉枯病ほ場抵抗性	
78 しま葉枯病抵抗性品種群別	
79 ツマグロヨコバイ抵抗性品種群別	
80 トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型	
81 精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）	
82 グルテリン含量	
83 カドミウム吸収性	
84 高温登熟性	
85 着粒密度	06 やや密

1 品種登録の番号及び年月日 第29287号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Oryza sativa L. SCL早生2号 (SCLワセ2コウ)

3 登録品種の特性の概要

葉の緑色の濃淡は中、葉耳のアントシアニン着色の有無は無、初期の止め葉の姿勢は半立、出穂期はかなり早、柱頭の色は白、稈の太さはやや細、稈の長さ（浮稲品種を除く。）はかなり短、穂の主軸の長さはやや短、穂数の中、芒の有無は有、初期の芒の色は黄白、芒の分布は全体、最長芒の長さは極短、外穎の毛じは中、外穎先端の色は白、穂の主軸の湾曲度は垂れる、穂型は紡錘形、穂の抽出度は穂軸もよく抽出、成熟期はかなり早、穎の色は黄白、護穎の長さは中、護穎の色は黄白、粳の千粒重はやや小、穎のフェノール反応の有無は無、玄米の千粒重はやや小、玄米の長さは中、玄米の幅は中、玄米の形は長円形、玄米の色は淡褐、胚乳の型は半糯、胚乳のアミロース含量は4型、玄米の香りは無又は極弱、穂発芽性は難、脱粒性は難、着粒密度はやや密である。

出願品種「SCL早生2号」は、対照品種「淡雪こまち」と比較して、稈の長さ（浮稲品種を除く。）がかなり短であること、精米のアルカリ崩壊性が完全崩壊であること、穂発芽性が難であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

住友化学株式会社
東京都中央区日本橋二丁目7番1号

6 登録品種の育成をした者の氏名

岡洋一 谷本怜

7 出願公表の年月日 平成30年9月19日

8 登録品種の育成の経過の概要

「コシヒカリつくばHD1号」に「つくばSD2号」を交配し、選抜したものである。

Oryza sativa L.
SCL早生2号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 しょう葉のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
02 基部葉の葉しょうの色	01 緑
03 葉の緑色の濃淡	05 中
04 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
05 葉のアントシアニン着色の分布	
06 葉しょうのアントシアニン着色の有無	01 無
07 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	
08 葉身表面の毛じ	05 中
09 葉耳のアントシアニン着色の有無	01 無
10 葉の襟のアントシアニン着色の有無	01 無
11 葉舌の形	03 裂形
12 葉舌の色	01 無色
13 葉身の長さ	04 やや短
14 葉身の幅	05 中
15 初期の止め葉の姿勢	03 半立
16 後期の止め葉の姿勢	03 半立
17 稈の向き	03 半立

Oryza sativa L.
SCL早生2号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 稈のひざまずきの有無（浮稲品種に限る。）	
19 出穂期	02 かなり早
20 雄性不稔性	
21 初期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
22 初期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
23 初期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
24 柱頭の色	01 白
25 稈の太さ	04 やや細
26 稈の長さ（浮稲品種を除く。）	02 かなり短
27 稈の節のアントシアニン着色の有無	01 無
28 稈の節のアントシアニン着色の強弱	
29 稈の節間のアントシアニン着色の有無	01 無
30 穂の主軸の長さ	04 やや短
31 穂数	05 中
32 芒の有無	09 有
33 初期の芒の色	01 黄白
34 芒の分布	05 全体

Oryza sativa L.
SCL早生2号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 最長芒の長さ	01 極短
36 外穎の毛じ	05 中
37 外穎先端の色	01 白
38 後期の芒の色	01 黄白
39 穂の主軸の湾曲度	03 垂れる
40 穂の二次枝梗の有無	09 有
41 穂の二次枝梗の型	02 2型
42 穂型	02 紡錘形
43 穂の抽出度	09 穂軸もよく抽出
44 成熟期	02 かなり早
45 葉の枯れ上がりの時期	07 晩
46 穎の色	01 黄白
47 穎の模様	01 無
48 後期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
49 後期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
50 後期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
51 護穎の長さ	05 中

Oryza sativa L.
SCL早生2号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 護穎の色	01 黄白
53 粳の千粒重	04 やや小
54 粳の長さ	05 中
55 粳の幅	05 中
56 穎のフェノール反応の有無	01 無
57 穎のフェノール反応による着色の濃淡	
58 玄米の千粒重	04 やや小
59 玄米の長さ	05 中
60 玄米の幅	05 中
61 玄米の形	02 長円形
62 玄米の色	02 淡褐
63 胚乳の型	02 半糯
64 胚乳のアミロース含量	04 4型
65 胚乳の色	02 白色半透明
66 精米のアルカリ崩壊性	07 完全崩壊
67 玄米の香り	01 無又は極弱
68 低温発芽性（陸稲品種に限る。）	

Oryza sativa L.
SCL早生2号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
69 障害型耐冷性	
70 穂発芽性	07 難
71 耐倒伏性	
72 脱粒性	07 難
73 いもち病抵抗性推定遺伝子型	
74 葉いもちほ場抵抗性	
75 穂いもちほ場抵抗性	
76 白葉枯病抵抗性品種群別	
77 白葉枯病ほ場抵抗性	
78 しま葉枯病抵抗性品種群別	
79 ツマグロヨコバイ抵抗性品種群別	
80 トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型	
81 精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）	
82 グルテリン含量	
83 カドミウム吸収性	
84 高温登熟性	
85 着粒密度	06 やや密

1 品種登録の番号及び年月日 第29288号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Oryza sativa L. 広系酒33号 (ヒロキイケンジユウサンゴウ)

3 登録品種の特性の概要

葉の緑色の濃淡は中、葉耳のアントシアニン着色の有無は無、初期の止め葉の姿勢は半立、出穂期はやや早、柱頭の色は白、稈の太さは中、稈の長さ（浮稲品種を除く。）はかなり長、穂の主軸の長さは中、穂数はやや少、芒の有無は無、外穎の毛じは中、外穎先端の色は白、穂の主軸の湾曲度は垂れる、穂型は紡錘形、穂の抽出度は穂軸もよく抽出、成熟期はやや早、穎の色は黄白、護穎の長さはやや長、護穎の色は黄白、粳の千粒重は大、穎のフェノール反応の有無は無、玄米の千粒重は大、玄米の長さはやや長、玄米の幅は中、玄米の形は長円形、玄米の色は淡褐、胚乳の型は粳、玄米の香りは無又は極弱、穂発芽性は難、耐倒伏性は中、脱粒性は難、精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）は81%以上、着粒密度はやや粗である。

出願品種「広系酒33号」は、対照品種「吟吹雪」と比較して、稈の長さ（浮稲品種を除く。）がかなり長であること、成熟期がやや早であること等で区別性が認められる。対照品種「千本錦」と比較して、穂発芽性が難であること、着粒密度がやや粗であること等で区別性が認められる。対照品種「山田錦」と比較して、出穂期がやや早であること、成熟期がやや早であること、耐倒伏性が中であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

広島県
広島県広島市中区基町10番52号

6 登録品種の育成をした者の氏名

勝場善之助 土屋隆生 蔵尾公紀 中津沙弥香 末成和夫

7 出願公表の年月日 平成30年8月14日

8 登録品種の育成の経過の概要

「山田錦」に「黄金晴」を交配し、選抜したものである。

Oryza sativa L.
 広系酒33号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 しょう葉のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
02 基部葉の葉しょうの色	01 緑
03 葉の緑色の濃淡	05 中
04 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
05 葉のアントシアニン着色の分布	
06 葉しょうのアントシアニン着色の有無	01 無
07 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	
08 葉身表面の毛じ	01 無又は極粗
09 葉耳のアントシアニン着色の有無	01 無
10 葉の襟のアントシアニン着色の有無	01 無
11 葉舌の形	03 裂形
12 葉舌の色	01 無色
13 葉身の長さ	
14 葉身の幅	
15 初期の止め葉の姿勢	03 半立
16 後期の止め葉の姿勢	03 半立
17 稈の向き	03 半立

Oryza sativa L.
 広系酒33号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 稈のひざまずきの有無（浮稲品種に限る。）	
19 出穂期	04 やや早
20 雄性不稔性	01 無
21 初期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
22 初期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
23 初期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
24 柱頭の色	01 白
25 稈の太さ	05 中
26 稈の長さ（浮稲品種を除く。）	08 かなり長
27 稈の節のアントシアニン着色の有無	01 無
28 稈の節のアントシアニン着色の強弱	
29 稈の節間のアントシアニン着色の有無	01 無
30 穂の主軸の長さ	05 中
31 穂数	04 やや少
32 芒の有無	01 無
33 初期の芒の色	
34 芒の分布	

Oryza sativa L.
広系酒33号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 最長芒の長さ	
36 外穎の毛じ	05 中
37 外穎先端の色	01 白
38 後期の芒の色	
39 穂の主軸の湾曲度	03 垂れる
40 穂の二次枝梗の有無	09 有
41 穂の二次枝梗の型	01 1 型
42 穂型	02 紡錘形
43 穂の抽出度	09 穂軸もよく抽出
44 成熟期	04 やや早
45 葉の枯れ上がりの時期	07 晩
46 穎の色	01 黄白
47 穎の模様	01 無
48 後期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
49 後期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
50 後期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
51 護穎の長さ	06 やや長

Oryza sativa L.
広系酒33号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 護穎の色	01 黄白
53 粳の千粒重	07 大
54 粳の長さ	06 やや長
55 粳の幅	05 中
56 穎のフェノール反応の有無	01 無
57 穎のフェノール反応による着色の濃淡	
58 玄米の千粒重	07 大
59 玄米の長さ	06 やや長
60 玄米の幅	05 中
61 玄米の形	02 長円形
62 玄米の色	02 淡褐
63 胚乳の型	03 粳
64 胚乳のアミロース含量	
65 胚乳の色	02 白色半透明
66 精米のアルカリ崩壊性	
67 玄米の香り	01 無又は極弱
68 低温発芽性（陸稲品種に限る。）	

Oryza sativa L.
広系酒33号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
69 障害型耐冷性	
70 穂発芽性	07 難
71 耐倒伏性	05 中
72 脱粒性	07 難
73 いもち病抵抗性推定遺伝子型	
74 葉いもちほ場抵抗性	
75 穂いもちほ場抵抗性	
76 白葉枯病抵抗性品種群別	
77 白葉枯病ほ場抵抗性	
78 しま葉枯病抵抗性品種群別	
79 ツマグロヨコバイ抵抗性品種群別	
80 トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型	
81 精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）	05 81%以上
82 グルテリン含量	
83 カドミウム吸収性	
84 高温登熟性	
85 着粒密度	04 やや粗

1 品種登録の番号及び年月日 第29289号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Oryza sativa L. コシヒカリ環2号 (コシヒカリ2ゴウ)

3 登録品種の特性の概要

葉の緑色の濃淡は中、葉耳のアントシアニン着色の有無は無、初期の止め葉の姿勢は半立、出穂期はやや早、柱頭の色は白、稈の太さは中、稈の長さ（浮稲品種を除く。）は長、穂の主軸の長さは中、穂数は中、芒の有無は有、初期の芒の色は黄白、芒の分布は先端のみ、最長芒の長さは極短、外穎の毛じは中、外穎先端の色は白、穂の主軸の湾曲度は垂れる、穂型は紡錘形、穂の抽出度は穂軸もよく抽出、成熟期はやや早、穎の色は黄白、護穎の長さは中、護穎の色は黄白、粳の千粒重は中、穎のフェノール反応の有無は無、玄米の千粒重は中、玄米の長さは中、玄米の幅は中、玄米の形は長円形、玄米の色は淡褐、胚乳の型は粳、胚乳のアミロース含量は5型、玄米の香りは無又は極弱、障害型耐冷性は強、穂発芽性は難、耐倒伏性は弱、脱粒性は難、葉いもちほ場抵抗性は弱、穂いもちほ場抵抗性は弱、白葉枯病ほ場抵抗性は中、高温登熟性は中、セシウム吸収性はかなり低である。

出願品種「コシヒカリ環2号」は、対照品種「コシヒカリ」と比較して、セシウム吸収性がかなり低であること等で区別性が認められる。対照品種「日本晴」と比較して、出穂期がやや早であること、稈の長さ（浮稲品種を除く。）が長であること、穂発芽性が難であること、耐倒伏性が弱であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
茨城県つくば市観音台三丁目1番地1

6 登録品種の育成をした者の氏名

後藤 明俊 石川 覚 安部 匡 倉俣 正人 井倉 将人
林 晋平 石井 卓朗 佐藤 宏之 黒木 慎 松原 一樹
竹内 善信 山口 誠之 平林 秀介 小林 伸哉

7 出願公表の年月日 平成30年9月20日

8 登録品種の育成の経過の概要

「コシヒカリ」の突然変異集団から選抜したものである。

Oryza sativa L.
コシヒカリ環2号

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29289号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 しょう葉のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
02 基部葉の葉しょうの色	01 緑
03 葉の緑色の濃淡	05 中
04 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
05 葉のアントシアニン着色の分布	
06 葉しょうのアントシアニン着色の有無	01 無
07 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	
08 葉身表面の毛じ	05 中
09 葉耳のアントシアニン着色の有無	01 無
10 葉の襟のアントシアニン着色の有無	01 無
11 葉舌の形	02 鋭形
12 葉舌の色	01 無色
13 葉身の長さ	
14 葉身の幅	
15 初期の止め葉の姿勢	03 半立
16 後期の止め葉の姿勢	03 半立
17 稈の向き	03 半立

Oryza sativa L.
コシヒカリ環2号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 稈のひざまずきの有無（浮稲品種に限る。）	
19 出穂期	04 やや早
20 雄性不稔性	01 無
21 初期の外穎のキールのアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
22 初期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
23 初期の外穎頂部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
24 柱頭の色	01 白
25 稈の太さ	05 中
26 稈の長さ（浮稲品種を除く。）	07 長
27 稈の節のアントシアニン着色の有無	01 無
28 稈の節のアントシアニン着色の強弱	
29 稈の節間のアントシアニン着色の有無	01 無
30 穂の主軸の長さ	05 中
31 穂数	05 中
32 芒の有無	09 有
33 初期の芒の色	01 黄白
34 芒の分布	01 先端のみ

Oryza sativa L.
コシヒカリ環2号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 最長芒の長さ	01 極短
36 外穎の毛じ	05 中
37 外穎先端の色	01 白
38 後期の芒の色	01 黄白
39 穂の主軸の湾曲度	03 垂れる
40 穂の二次枝梗の有無	09 有
41 穂の二次枝梗の型	02 2型
42 穂型	02 紡錘形
43 穂の抽出度	09 穂軸もよく抽出
44 成熟期	04 やや早
45 葉の枯れ上がりの時期	05 中
46 穎の色	01 黄白
47 穎の模様	01 無
48 後期の外穎のキールのアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
49 後期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
50 後期の外穎頂部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
51 護穎の長さ	05 中

Oryza sativa L.
コシヒカリ環2号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 護穎の色	01 黄白
53 粳の千粒重	05 中
54 粳の長さ	05 中
55 粳の幅	05 中
56 穎のフェノール反応の有無	01 無
57 穎のフェノール反応による着色の濃淡	
58 玄米の千粒重	05 中
59 玄米の長さ	05 中
60 玄米の幅	05 中
61 玄米の形	02 長円形
62 玄米の色	02 淡褐
63 胚乳の型	03 粳
64 胚乳のアミロース含量	05 5型
65 胚乳の色	02 白色半透明
66 精米のアルカリ崩壊性	06 中間～完全崩壊
67 玄米の香り	01 無又は極弱
68 低温発芽性（陸稲品種に限る。）	

Oryza sativa L.
コシヒカリ環2号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
69 障害型耐冷性	07 強
70 穂発芽性	07 難
71 耐倒伏性	03 弱
72 脱粒性	07 難
73 いもち病抵抗性推定遺伝子型	+
74 葉いもちほ場抵抗性	03 弱
75 穂いもちほ場抵抗性	03 弱
76 白葉枯病抵抗性品種群別	
77 白葉枯病ほ場抵抗性	05 中
78 しま葉枯病抵抗性品種群別	
79 ツマグロヨコバイ抵抗性品種群別	
80 トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型	
81 精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）	
82 グルテリン含量	
83 カドミウム吸収性	
84 高温登熟性	05 中
85 着粒密度	

Oryza sativa L.
コシヒカリ環2号

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 8 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
86 ピリミジニルカルボキシ系除草剤（ビスピリバックナトリウム塩）抵抗性 87 セシウム吸収性	
	02 かなり低

1 品種登録の番号及び年月日 第29290号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Oryza sativa L. 百田 (ヒャクテン)

3 登録品種の特性の概要

葉の緑色の濃淡は中、葉耳のアントシアニン着色の有無は無、初期の止め葉の姿勢は半立、出穂期はやや早、柱頭の色は白、稈の太さはやや太、稈の長さ（浮稲品種を除く。）はやや長、穂の主軸の長さは中、穂数はやや多、芒の有無は有、初期の芒の色は黄白、芒の分布は先端のみ、最長芒の長さは極短、外穎の毛じは中、外穎先端の色は白、穂の主軸の湾曲度は垂れる、穂型は紡錘形、穂の抽出度は穂軸もよく抽出、成熟期は中、穎の色は黄白、護穎の長さは中、護穎の色は黄白、粳の千粒重は大、穎のフェノール反応の有無は無、玄米の千粒重は大、玄米の長さは中、玄米の幅はやや広、玄米の形は長円形、玄米の色は淡褐、胚乳の型は粳、玄米の香りは無又は極弱、障害型耐冷性はやや弱、穂発芽性はやや易、脱粒性は難、穂いもちほ場抵抗性はやや弱、精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）は81%以上、カドミウム吸収性は低である。

出願品種「百田」は、対照品種「ゆめさんさ」と比較して、芒の分布が先端のみであること、粳の千粒重が大であること、精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）が81%以上であること等で区別性が認められる。対照品種「どんぴしゃり」と比較して、穂数がやや多であること、精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）が81%以上であること等で区別性が認められる。対照品種「秋田酒こまち」と比較して、穂の主軸の長さが中であること、穂数がやや多であること、いもち病抵抗性推定遺伝子型がPiiであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

秋田県
秋田県秋田市山王四丁目1番1号

6 登録品種の育成をした者の氏名

高橋竜一 小玉郁子 川本朋彦 加藤和直 佐藤健介 柴田智
大野剛 児玉雅 渡邊誠衛

7 出願公表の年月日 平成30年10月25日

8 登録品種の育成の経過の概要

「秋田酒718」に「美郷錦」を交配し、選抜したものである。

Oryza sativa L.
百田

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 しょう葉のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
02 基部葉の葉しょうの色	01 緑
03 葉の緑色の濃淡	05 中
04 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
05 葉のアントシアニン着色の分布	
06 葉しょうのアントシアニン着色の有無	01 無
07 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	
08 葉身表面の毛じ	05 中
09 葉耳のアントシアニン着色の有無	01 無
10 葉の襟のアントシアニン着色の有無	01 無
11 葉舌の形	03 裂形
12 葉舌の色	01 無色
13 葉身の長さ	
14 葉身の幅	
15 初期の止め葉の姿勢	03 半立
16 後期の止め葉の姿勢	03 半立
17 稈の向き	03 半立

Oryza sativa L.
百田

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 稈のひざまずきの有無（浮稲品種に限る。）	
19 出穂期	04 やや早
20 雄性不稔性	01 無
21 初期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
22 初期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
23 初期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
24 柱頭の色	01 白
25 稈の太さ	06 やや太
26 稈の長さ（浮稲品種を除く。）	06 やや長
27 稈の節のアントシアニン着色の有無	01 無
28 稈の節のアントシアニン着色の強弱	
29 稈の節間のアントシアニン着色の有無	01 無
30 穂の主軸の長さ	05 中
31 穂数	06 やや多
32 芒の有無	09 有
33 初期の芒の色	01 黄白
34 芒の分布	01 先端のみ

Oryza sativa L.
百田

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 最長芒の長さ	01 極短
36 外穎の毛じ	05 中
37 外穎先端の色	01 白
38 後期の芒の色	01 黄白
39 穂の主軸の湾曲度	03 垂れる
40 穂の二次枝梗の有無	09 有
41 穂の二次枝梗の型	01 1 型
42 穂型	02 紡錘形
43 穂の抽出度	09 穂軸もよく抽出
44 成熟期	05 中
45 葉の枯れ上がりの時期	07 晩
46 穎の色	01 黄白
47 穎の模様	01 無
48 後期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
49 後期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
50 後期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
51 護穎の長さ	05 中

Oryza sativa L.
百田

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 護穎の色	01 黄白
53 粳の千粒重	07 大
54 粳の長さ	05 中
55 粳の幅	06 やや広
56 穎のフェノール反応の有無	01 無
57 穎のフェノール反応による着色の濃淡	
58 玄米の千粒重	07 大
59 玄米の長さ	05 中
60 玄米の幅	06 やや広
61 玄米の形	02 長円形
62 玄米の色	02 淡褐
63 胚乳の型	03 粳
64 胚乳のアミロース含量	
65 胚乳の色	02 白色半透明
66 精米のアルカリ崩壊性	05 中間
67 玄米の香り	01 無又は極弱
68 低温発芽性（陸稲品種に限る。）	

Oryza sativa L.
百田

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
69 障害型耐冷性	04 やや弱
70 穂発芽性	04 やや易
71 耐倒伏性	
72 脱粒性	07 難
73 いもち病抵抗性推定遺伝子型	Pii
74 葉いもちほ場抵抗性	
75 穂いもちほ場抵抗性	04 やや弱
76 白葉枯病抵抗性品種群別	
77 白葉枯病ほ場抵抗性	
78 しま葉枯病抵抗性品種群別	
79 ツマグロヨコバイ抵抗性品種群別	
80 トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型	
81 精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）	05 81%以上
82 グルテリン含量	
83 カドミウム吸収性	03 低
84 高温登熟性	
85 着粒密度	

1 品種登録の番号及び年月日 第 2 9 2 9 1 号 令和 4 年 7 月 1 1 日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Pelargonium grandiflorum (Andrews) Willd. REGBERO

3 登録品種の特性の概要

草丈はやや低、葉身の長さはやや短、葉身の幅はやや狭、葉身の基部の重なりはやや開く、葉身の切れ込みは浅、葉身の斑の有無は無、花の幅は中、がく片の長さは中、小花柄のアントシアニンの着色は無又は弱、上部花弁の周縁部の波打ちは強、上部花弁の周縁部の主な色は65B、上部花弁の周縁部と中間部の間の主な色はN74B、上部花弁の中間部の主な色はN74B、上部花弁の中央の模様は無又は極小、上部花弁の基部の複色部は大、下部花弁の周縁部の主な色は65B、下部花弁の周縁部と中間部の間の主な色はN74B、下部花弁の中間部の主な色はN74B、下部花弁の中央の模様は無又は極小、下部花弁の基部の複色部は中である。(カラーチャートはRHSを使用)

出願品種「REGBERO」は、対照品種「REGBEPI」と比較して、上部花弁の周縁部と中間部の間の主な色がN74Bであること、下部花弁の周縁部と中間部の間の主な色がN74Bであること等で区別性が認められる。対照品種「REGBECHER」と比較して、上部花弁の周縁部と中間部の間の主な色がN74Bであること、下部花弁の周縁部と中間部の間の主な色がN74Bであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 2 5 年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Elsner pac Jungpflanzen GbR
Kipsdorfer Str. 146, 01279 Dresden, Germany

6 登録品種の育成をした者の氏名

Martin Geibel

7 出願公表の年月日 令和元年 1 0 月 8 日

8 登録品種の育成の経過の概要

出願者所有の育成系統の自然交雑実生から選抜したものである。

Pelargonium grandiflorum (Andrews) Willd.
REGBERO

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 1 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草丈	04 やや低
02 草丈2	
03 株幅	04 やや狭
04 葉身の長さ	04 やや短
05 葉身の幅	04 やや狭
06 葉身の基部の重なり	03 やや開く
07 葉身の切れ込み	03 浅
08 葉身の周縁部の切れ込み	03 中
09 葉身の斑の有無	01 無
10 葉身の緑色の濃淡	03 中
11 花の長さ	05 中
12 花の長さ2	
13 花の幅	05 中
14 花の幅2	
15 がく片の長さ	03 中
16 がく片の幅	04 広
17 小花柄のアントシアニンの着色	01 無又は弱

Pelargonium grandiflorum (Andrews) Willd.
REGBERO

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29291号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
18 上部花弁の周縁部の波打ち	04 強
19 上部花弁の周縁部の主な色	RHSカラーチャート 65B
20 上部花弁の周縁部と中間部の間の主な色	RHSカラーチャート N74B
21 上部花弁の中間部の主な色	RHSカラーチャート N74B
22 上部花弁の中央の模様	01 無又は極小
23 上部花弁の基部の複色部	04 大
24 上部花弁の基部の複色部の色	RHSカラーチャート NN155C
25 下部花弁の周縁部の主な色	RHSカラーチャート 65B
26 下部花弁の周縁部と中間部の間の主な色	RHSカラーチャート N74B
27 下部花弁の中間部の主な色	RHSカラーチャート N74B
28 下部花弁の中央の模様	01 無又は極小
29 下部花弁の基部の複色部	03 中
30 下部花弁の基部の複色部の色	RHSカラーチャート NN155C

1 品種登録の番号及び年月日 第29292号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Pelargonium peltatum (L.) L'Her. Toscat1068

3 登録品種の特性の概要

草姿は斜上、茎の色（アントシアニンを除く。）は緑、葉身の長さは短、葉身の幅はやや狭、葉身の形はツタバ形、葉身の切れ込みの深さはやや浅、葉身の周縁の波打ちの強弱は弱、葉身の基部の重なりはやや開く、葉身の斑の有無は無、葉身の主な色（環状紋を除く。）は緑、葉身の表面の環状紋の明瞭度は中、花柄の長さはやや短、花序の幅は中、最大花の幅は中、小花柄の長さは短、小花柄上部のアントシアニン着色の強弱は無又は極弱、小花柄の突起の有無は無、花型は八重、花卉の数（八重品種に限る。）は少、上部花卉の幅は中、上部花卉の先端の形は全縁、上部花卉の表面の周縁部の色はN57C、上部花卉の表面の中央部の色はN57C、上部花卉の模様の明瞭度は弱、上部花卉の模様の形は条のみ、上部花卉の基部の複色部の有無は無、下部花卉の表面の周縁部の色はN57C、下部花卉の表面の中央部の色はN57C、下部花卉の裏面の色は58D、下部花卉の模様の明瞭度は無又は極弱、下部花卉の基部の複色部の有無は無、内部花卉の表面の中央部の色（八重品種に限る。）はN57Cである。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「Toscat1068」は、対照品種「フリースタイル ピンク」と比較して、小花柄上部のアントシアニン着色の強弱が無又は極弱であること、小花柄の突起の有無が無であること等で区別性が認められる。対照品種「PACROCKY」と比較して、小花柄上部のアントシアニン着色の強弱が無又は極弱であること、上部花卉の表面の中央部の色がN57Cであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Toscana Breeding B.V.

Langeweg 79, 3342LD Hendrik-Ido-Ambacht, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Fabienne Monte

7 出願公表の年月日 令和元年6月11日

8 登録品種の育成の経過の概要

「Sil Erke」に出願者所有の系統を交配し、選抜したものである。

Pelargonium peltatum (L.) L'Her.
Toscat1068

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 2 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草姿	02 斜上
02 茎葉部の高さ（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）	06 やや高
03 茎の長さ（草姿がほふくの品種に限る。）	
04 株の幅（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）	05 中
05 茎の色（アントシアニンを除く。）	02 緑
06 茎のアントシアニン着色の強弱	02 中
07 葉身の長さ	03 短
08 葉身の幅	04 やや狭
09 葉身の形	04 ツタバ形
10 葉身の切れ込みの深さ	04 やや浅
11 葉身の周縁の波打ちの強弱	03 弱
12 葉身の基部の重なり	03 やや開く
13 葉身の斑の有無	01 無
14 葉身の主な色（環状紋を除く。）	04 緑
15 葉身の二次色（環状紋を除く。）	
16 葉身の光沢の強弱（草姿がほふくの品種に限る。）	
17 葉身の表面の環状紋の明瞭度	05 中

Pelargonium peltatum (L.) L'Her.
Toscat1068

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 2 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 葉身の環状紋の位置	02 中間部
19 葉身の環状紋の相対的な大きさ	01 小
20 花柄の長さ	04 やや短
21 花柄の中央部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
22 花序の長さ	06 やや長
23 花序の幅	05 中
24 一花序の開花数	03 少
25 最大花の長さ	05 中
26 最大花の幅	05 中
27 小花柄の長さ	03 短
28 小花柄上部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
29 小花柄の突起の有無	01 無
30 花型	02 八重
31 下部花弁の上部花弁に対する配置（一重品種に限る。）	
32 花弁の数（八重品種に限る。）	03 少
33 横から見た花の断面の形	01 凹
34 花弁の不規則な条や斑点の有無	01 無

Pelargonium peltatum (L.) L'Her.
Toscat1068

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 2 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 花の主な色（不規則な条や斑点のある品種に限る。）	
36 花弁の条や斑点の色（不規則な条や斑点のある品種に限る。）	
37 がくの反転の強弱	01 無又は弱
38 最も幅広のがくの中央部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
39 上部花弁の幅	05 中
40 上部花弁の形	03 倒三角形
41 上部花弁の先端の形	01 全縁
42 上部花弁の表面の周縁部の色	RHSカラーチャート N57C
43 上部花弁の表面の中央部の色	RHSカラーチャート N57C
44 上部花弁の裏面の色	RHSカラーチャート 58D
45 上部花弁の模様の明瞭度	03 弱
46 上部花弁の模様の形	01 条のみ
47 上部花弁の最大の斑点の大きさ	
48 上部花弁の斑点の色	
49 上部花弁の基部の複色部の有無	01 無
50 上部花弁の基部の複色部の大きさ	
51 上部花弁の基部の複色部の色	

Pelargonium peltatum (L.) L'Her.
Toscat1068

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29292号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
52 下部花弁の表面の周縁部の色	RHSカラーチャート N57C
53 下部花弁の表面の中央部の色	RHSカラーチャート N57C
54 下部花弁の裏面の色	RHSカラーチャート 58D
55 下部花弁の模様の明瞭度	01 無又は極弱
56 下部花弁の模様の形	
57 下部花弁の最大の斑点の大きさ	
58 下部花弁の基部の複色部の有無	01 無
59 下部花弁の基部の複色部の大きさ	
60 下部花弁の基部の複色部の色	
61 内部花弁の表面の中央部の色（八重品種に限る。）	RHSカラーチャート N57C
62 開花始期	

- 1 品種登録の番号及び年月日 第29293号 令和4年7月11日
- 2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称
Pelargonium peltatum (L.) L'Her. x Pelargonium zonale Group PACTIOWHI

3 登録品種の特性の概要

草姿は斜上、茎の色（アントシアニンを除く。）は緑、葉身の長さは短、葉身の幅はやや狭、葉身の形は腎臓形、葉身の切れ込みの深さは浅、葉身の周縁の波打ちの強弱はやや弱、葉身の基部の重なりはやや開く、葉身の斑の有無は無、葉身の主な色（環状紋を除く。）は淡緑～緑、葉身の表面の環状紋の明瞭度は弱、花柄の長さは中、花序の幅はやや広、最大花の幅は中、小花柄の長さは中、小花柄上部のアントシアニン着色の強弱は無又は極弱、小花柄の突起の有無は有、花型は一重、下部花卉の上部花卉に対する配置（一重品種に限る。）は離れる、上部花卉の幅は中、上部花卉の先端の形は全縁、上部花卉の表面の周縁部の色はNN155D、上部花卉の表面の中央部の色はNN155D、上部花卉の模様の明瞭度は無又は極弱、上部花卉の基部の複色部の有無は無、下部花卉の表面の周縁部の色はNN155D、下部花卉の表面の中央部の色はNN155D、下部花卉の裏面の色はNN155D、下部花卉の模様の明瞭度は無又は極弱、下部花卉の基部の複色部の有無は無である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「PACTIOWHI」は、対照品種「グラスス」と比較して、茎葉部の高さ（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）が高であること、葉身の表面の環状紋の明瞭度が弱であること等で区別性が認められる。対照品種「ペンウェイ」と比較して、茎葉部の高さ（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）が高であること、花型が一重であること等で区別性が認められる。

- 4 育成者権の存続期間 25年
- 5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所
Elsner pac Jungpflanzen GbR
Kipsdorfer Str. 146, 01279 Dresden, Germany

- 6 登録品種の育成をした者の氏名
Martin Geibel

- 7 出願公表の年月日 令和元年10月8日

8 登録品種の育成の経過の概要

出願者所有の育成系統どうしを交配し、選抜したものである。

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 3 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草姿	02 斜上
02 茎葉部の高さ（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）	07 高
03 茎の長さ（草姿がほふくの品種に限る。）	
04 株の幅（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）	06 やや広
05 茎の色（アントシアニンを除く。）	02 緑
06 茎のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
07 葉身の長さ	03 短
08 葉身の幅	04 やや狭
09 葉身の形	01 腎臓形
10 葉身の切れ込みの深さ	03 浅
11 葉身の周縁の波打ちの強弱	04 やや弱
12 葉身の基部の重なり	03 やや開く
13 葉身の斑の有無	01 無
14 葉身の主な色（環状紋を除く。）	03 淡緑～緑
15 葉身の二次色（環状紋を除く。）	
16 葉身の光沢の強弱（草姿がほふくの品種に限る。）	
17 葉身の表面の環状紋の明瞭度	03 弱

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29293号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
18 葉身の環状紋の位置	02 中間部
19 葉身の環状紋の相対的な大きさ	03 中
20 花柄の長さ	05 中
21 花柄の中央部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
22 花序の長さ	06 やや長
23 花序の幅	06 やや広
24 一花序の開花数	06 やや多
25 最大花の長さ	04 やや短
26 最大花の幅	05 中
27 小花柄の長さ	05 中
28 小花柄上部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
29 小花柄の突起の有無	09 有
30 花型	01 一重
31 下部花弁の上部花弁に対する配置（一重品種に限る。）	01 離れる
32 花弁の数（八重品種に限る。）	
33 横から見た花の断面の形	02 平
34 花弁の不規則な条や斑点の有無	01 無

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 3 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 花の主な色（不規則な条や斑点のある品種に限る。）	
36 花弁の条や斑点の色（不規則な条や斑点のある品種に限る。）	
37 がくの反転の強弱	01 無又は弱
38 最も幅広のがくの中央部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
39 上部花弁の幅	05 中
40 上部花弁の形	03 倒三角形
41 上部花弁の先端の形	01 全縁
42 上部花弁の表面の周縁部の色	RHSカラーチャート NN155D
43 上部花弁の表面の中央部の色	RHSカラーチャート NN155D
44 上部花弁の裏面の色	RHSカラーチャート NN155D
45 上部花弁の模様の明瞭度	01 無又は極弱
46 上部花弁の模様の形	
47 上部花弁の最大の斑点の大きさ	
48 上部花弁の斑点の色	
49 上部花弁の基部の複色部の有無	01 無
50 上部花弁の基部の複色部の大きさ	
51 上部花弁の基部の複色部の色	

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 3 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 下部花弁の表面の周縁部の色	RHSカラーチャート NN155D
53 下部花弁の表面の中央部の色	RHSカラーチャート NN155D
54 下部花弁の裏面の色	RHSカラーチャート NN155D
55 下部花弁の模様の明瞭度	01 無又は極弱
56 下部花弁の模様の形	
57 下部花弁の最大の斑点の大きさ	
58 下部花弁の基部の複色部の有無	01 無
59 下部花弁の基部の複色部の大きさ	
60 下部花弁の基部の複色部の色	
61 内部花弁の表面の中央部の色（八重品種に限る。）	
62 開花始期	

1 品種登録の番号及び年月日 第29294号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Pelargonium zonale Group KLEPZ17509

3 登録品種の特性の概要

草姿は斜上、茎の色（アントシアニンを除く。）は緑、葉身の長さは中、葉身の幅は中、葉身の形は腎臓形、葉身の切れ込みの深さは中、葉身の周縁の波打ちの強弱はやや弱、葉身の基部の重なりはやや開く、葉身の斑の有無は無、葉身の主な色（環状紋を除く。）は緑～濃緑、葉身の表面の環状紋の明瞭度は弱、花柄の長さはやや短、花序の幅は中、最大花の幅は広、小花柄の長さは短、小花柄上部のアントシアニン着色の強弱はやや弱、小花柄の突起の有無は無、花型は八重、花卉の数（八重品種に限る。）は少、上部花卉の幅はやや広、上部花卉の先端の形は全縁、上部花卉の表面の周縁部の色はN45A、上部花卉の表面の中央部の色はN45A、上部花卉の模様の明瞭度はかなり弱、上部花卉の模様の形は条のみ、上部花卉の基部の複色部の有無は有、上部花卉の基部の複色部の大きさは中、下部花卉の表面の周縁部の色はN45A、下部花卉の表面の中央部の色はN45A、下部花卉の裏面の色は53C、下部花卉の模様の明瞭度は無又は極弱、下部花卉の基部の複色部の有無は無、内部花卉の表面の中央部の色（八重品種に限る。）はN45Aである。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「KLEPZ17509」は、対照品種「AMRI TRARED」と比較して、花序の幅が中であること等で区別性が認められる。対照品種「ZONTADERED」と比較して、花柄の中央部のアントシアニン着色の強弱が無又は極弱であること、上部花卉の表面の中央部の色がN45Aであること等で区別性が認められる。対照品種「タカサム」と比較して、花柄の中央部のアントシアニン着色の強弱が無又は極弱であること、最大花の幅が広であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Klemm+Sohn GmbH & Co. KG
Hanfacker 10, 70378 Stuttgart, Germany

6 登録品種の育成をした者の氏名

Martin Glawe

7 出願公表の年月日 令和元年7月4日

8 登録品種の育成の経過の概要

「AMRI TRARED」に「Silze Nora」を交配し、選抜したものである。

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 4 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草姿	02 斜上
02 茎葉部の高さ（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）	03 低
03 茎の長さ（草姿がほふくの品種に限る。）	
04 株の幅（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）	04 やや狭
05 茎の色（アントシアニンを除く。）	02 緑
06 茎のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
07 葉身の長さ	05 中
08 葉身の幅	05 中
09 葉身の形	01 腎臓形
10 葉身の切れ込みの深さ	05 中
11 葉身の周縁の波打ちの強弱	04 やや弱
12 葉身の基部の重なり	03 やや開く
13 葉身の斑の有無	01 無
14 葉身の主な色（環状紋を除く。）	05 緑～濃緑
15 葉身の二次色（環状紋を除く。）	
16 葉身の光沢の強弱（草姿がほふくの品種に限る。）	
17 葉身の表面の環状紋の明瞭度	03 弱

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29294号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
18 葉身の環状紋の位置	02 中間部
19 葉身の環状紋の相対的な大きさ	03 中
20 花柄の長さ	04 やや短
21 花柄の中央部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
22 花序の長さ	06 やや長
23 花序の幅	05 中
24 一花序の開花数	03 少
25 最大花の長さ	06 やや長
26 最大花の幅	07 広
27 小花柄の長さ	03 短
28 小花柄上部のアントシアニン着色の強弱	04 やや弱
29 小花柄の突起の有無	01 無
30 花型	02 八重
31 下部花弁の上部花弁に対する配置（一重品種に限る。）	
32 花弁の数（八重品種に限る。）	03 少
33 横から見た花の断面の形	02 平
34 花弁の不規則な条や斑点の有無	01 無

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29294号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
35 花の主な色（不規則な条や斑点のある品種に限る。）	
36 花弁の条や斑点の色（不規則な条や斑点のある品種に限る。）	
37 がくの反転の強弱	02 中
38 最も幅広のがくの中央部のアントシアニン着色の強弱	02 かなり弱
39 上部花弁の幅	06 やや広
40 上部花弁の形	03 倒三角形
41 上部花弁の先端の形	01 全縁
42 上部花弁の表面の周縁部の色	RHSカラーチャート N45A
43 上部花弁の表面の中央部の色	RHSカラーチャート N45A
44 上部花弁の裏面の色	RHSカラーチャート 53C
45 上部花弁の模様の明瞭度	02 かなり弱
46 上部花弁の模様の形	01 条のみ
47 上部花弁の最大の斑点の大きさ	
48 上部花弁の斑点の色	
49 上部花弁の基部の複色部の有無	09 有
50 上部花弁の基部の複色部の大きさ	05 中
51 上部花弁の基部の複色部の色	02 赤桃

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29294号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
52 下部花弁の表面の周縁部の色	RHSカラーチャート N45A
53 下部花弁の表面の中央部の色	RHSカラーチャート N45A
54 下部花弁の裏面の色	RHSカラーチャート 53C
55 下部花弁の模様の明瞭度	01 無又は極弱
56 下部花弁の模様の形	
57 下部花弁の最大の斑点の大きさ	
58 下部花弁の基部の複色部の有無	01 無
59 下部花弁の基部の複色部の大きさ	
60 下部花弁の基部の複色部の色	
61 内部花弁の表面の中央部の色（八重品種に限る。）	RHSカラーチャート N45A
62 開花始期	

1 品種登録の番号及び年月日 第 2 9 2 9 5 号 令和 4 年 7 月 1 1 日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Pelargonium zonale Group SWERED

3 登録品種の特性の概要

草姿は斜上、茎の色（アントシアニンを除く。）は緑、葉身の長さは中、葉身の幅は中、葉身の形は腎臓形、葉身の切れ込みの深さはかなり浅、葉身の周縁の波打ちの強弱はやや弱、葉身の基部の重なりはやや開く、葉身の斑の有無は無、葉身の主な色（環状紋を除く。）は緑、葉身の表面の環状紋の明瞭度は無又は極弱、花柄の長さは短、花序の幅はやや広、最大花の幅はやや広、小花柄の長さは中、小花柄上部のアントシアニン着色の強弱はやや弱、小花柄の突起の有無は無、花型は八重、花卉の数（八重品種に限る。）はかなり少、上部花卉の幅は広、上部花卉の先端の形は全縁、上部花卉の表面の周縁部の色はN57A、上部花卉の表面の中央部の色は53C、上部花卉の模様の明瞭度は弱、上部花卉の模様の形は条のみ、上部花卉の基部の複色部の有無は有、上部花卉の基部の複色部の大きさは中、下部花卉の表面の周縁部の色はN57A、下部花卉の表面の中央部の色は53C、下部花卉の裏面の色は72D、下部花卉の模様の明瞭度は無又は極弱、下部花卉の基部の複色部の有無は有、内部花卉の表面の中央部の色（八重品種に限る。）は53Cである。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「SWERED」は、対照品種「SWEVEL」と比較して、上部花卉の表面の中央部の色が53Cであること等で区別性が認められる。対照品種「PACSWIBU」と比較して、上部花卉の表面の周縁部の色がN57Aであること、下部花卉の裏面の色が72Dであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 2 5 年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Elsner pac Jungpflanzen GbR
Kipsdorfer Str. 146, 01279 Dresden, Germany

6 登録品種の育成をした者の氏名

Martin Geibel

7 出願公表の年月日 令和元年 1 0 月 8 日

8 登録品種の育成の経過の概要

出願者所有の育成系統の自然交雑実生から選抜したものである。

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 5 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草姿	02 斜上
02 茎葉部の高さ（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）	03 低
03 茎の長さ（草姿がほふくの品種に限る。）	
04 株の幅（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）	04 やや狭
05 茎の色（アントシアニンを除く。）	02 緑
06 茎のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
07 葉身の長さ	05 中
08 葉身の幅	05 中
09 葉身の形	01 腎臓形
10 葉身の切れ込みの深さ	02 かなり浅
11 葉身の周縁の波打ちの強弱	04 やや弱
12 葉身の基部の重なり	03 やや開く
13 葉身の斑の有無	01 無
14 葉身の主な色（環状紋を除く。）	04 緑
15 葉身の二次色（環状紋を除く。）	
16 葉身の光沢の強弱（草姿がほふくの品種に限る。）	
17 葉身の表面の環状紋の明瞭度	01 無又は極弱

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 5 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 葉身の環状紋の位置	
19 葉身の環状紋の相対的な大きさ	
20 花柄の長さ	03 短
21 花柄の中央部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
22 花序の長さ	06 やや長
23 花序の幅	06 やや広
24 一花序の開花数	04 やや少
25 最大花の長さ	05 中
26 最大花の幅	06 やや広
27 小花柄の長さ	05 中
28 小花柄上部のアントシアニン着色の強弱	04 やや弱
29 小花柄の突起の有無	01 無
30 花型	02 八重
31 下部花弁の上部花弁に対する配置（一重品種に限る。）	
32 花弁の数（八重品種に限る。）	02 かなり少
33 横から見た花の断面の形	02 平
34 花弁の不規則な条や斑点の有無	01 無

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 5 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 花の主な色（不規則な条や斑点のある品種に限る。）	
36 花弁の条や斑点の色（不規則な条や斑点のある品種に限る。）	
37 がくの反転の強弱	01 無又は弱
38 最も幅広のがくの中央部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
39 上部花弁の幅	07 広
40 上部花弁の形	02 円形
41 上部花弁の先端の形	01 全縁
42 上部花弁の表面の周縁部の色	RHSカラーチャート N57A
43 上部花弁の表面の中央部の色	RHSカラーチャート 53C
44 上部花弁の裏面の色	RHSカラーチャート 72D
45 上部花弁の模様の明瞭度	03 弱
46 上部花弁の模様の形	01 条のみ
47 上部花弁の最大の斑点の大きさ	
48 上部花弁の斑点の色	
49 上部花弁の基部の複色部の有無	09 有
50 上部花弁の基部の複色部の大きさ	05 中
51 上部花弁の基部の複色部の色	01 白

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 5 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 下部花弁の表面の周縁部の色	RHSカラーチャート N57A
53 下部花弁の表面の中央部の色	RHSカラーチャート 53C
54 下部花弁の裏面の色	RHSカラーチャート 72D
55 下部花弁の模様の明瞭度	01 無又は極弱
56 下部花弁の模様の形	
57 下部花弁の最大の斑点の大きさ	
58 下部花弁の基部の複色部の有無	09 有
59 下部花弁の基部の複色部の大きさ	05 中
60 下部花弁の基部の複色部の色	03 青桃
61 内部花弁の表面の中央部の色（八重品種に限る。）	RHSカラーチャート 53C
62 開花始期	

1 品種登録の番号及び年月日 第 2 9 2 9 6 号 令和 4 年 7 月 1 1 日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Pelargonium zonale Group PACDAZZ

3 登録品種の特性の概要

草姿は斜上、茎の色（アントシアニンを除く。）は緑、葉身の長さはやや短、葉身の幅は中、葉身の形は腎臓形、葉身の切れ込みの深さは浅、葉身の周縁の波打ちの強弱は中、葉身の基部の重なりはやや開く、葉身の斑の有無は無、葉身の主な色（環状紋を除く。）は緑、葉身の表面の環状紋の明瞭度は強、花柄の長さはやや短、花序の幅は中、最大花の幅はやや狭、小花柄の長さはやや短、小花柄上部のアントシアニン着色の強弱は弱、小花柄の突起の有無は無、花型は八重、花卉の数（八重品種に限る。）はかなり少、上部花卉の幅はやや広、上部花卉の先端の形は全縁、上部花卉の表面の周縁部の色はN57A、上部花卉の表面の中央部の色はN57A、上部花卉の模様の明瞭度はかなり弱、上部花卉の模様の形は条のみ、上部花卉の基部の複色部の有無は有、上部花卉の基部の複色部の大きさはやや大、下部花卉の表面の周縁部の色はN57A、下部花卉の表面の中央部の色はN57A、下部花卉の裏面の色はN66C、下部花卉の模様の明瞭度は無又は極弱、下部花卉の基部の複色部の有無は無、内部花卉の表面の中央部の色（八重品種に限る。）はN57Aである。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「PACDAZZ」は、対照品種「PACLICE」と比較して、上部花卉の表面の中央部の色がN57Aであること、下部花卉の表面の中央部の色がN57Aであること等で区別性が認められる。対照品種「パクショビィ」と比較して、小花柄上部のアントシアニン着色の強弱が弱であること、上部花卉の表面の中央部の色がN57Aであること等で区別性が認められる。対照品種「ピントプレミアム ディープローズ」と比較して、花柄の中央部のアントシアニン着色の強弱がかなり弱であること、小花柄の突起の有無が無であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 2 5 年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Elsner pac Jungpflanzen GbR
Kipsdorfer Str. 146, 01279 Dresden, Germany

6 登録品種の育成をした者の氏名

Martin Geibel

7 出願公表の年月日 令和元年 1 0 月 2 8 日

8 登録品種の育成の経過の概要

出願者所有の育成系統の自然交雑実生から選抜したものである。

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 草姿	02 斜上
02 茎葉部の高さ（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）	05 中
03 茎の長さ（草姿がほふくの品種に限る。）	
04 株の幅（草姿が直立又は斜上の品種に限る。）	04 やや狭
05 茎の色（アントシアニンを除く。）	02 緑
06 茎のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
07 葉身の長さ	04 やや短
08 葉身の幅	05 中
09 葉身の形	01 腎臓形
10 葉身の切れ込みの深さ	03 浅
11 葉身の周縁の波打ちの強弱	05 中
12 葉身の基部の重なり	03 やや開く
13 葉身の斑の有無	01 無
14 葉身の主な色（環状紋を除く。）	04 緑
15 葉身の二次色（環状紋を除く。）	
16 葉身の光沢の強弱（草姿がほふくの品種に限る。）	
17 葉身の表面の環状紋の明瞭度	07 強

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 葉身の環状紋の位置	02 中間部
19 葉身の環状紋の相対的な大きさ	05 大
20 花柄の長さ	04 やや短
21 花柄の中央部のアントシアニン着色の強弱	02 かなり弱
22 花序の長さ	06 やや長
23 花序の幅	05 中
24 一花序の開花数	05 中
25 最大花の長さ	04 やや短
26 最大花の幅	04 やや狭
27 小花柄の長さ	04 やや短
28 小花柄上部のアントシアニン着色の強弱	03 弱
29 小花柄の突起の有無	01 無
30 花型	02 八重
31 下部花弁の上部花弁に対する配置（一重品種に限る。）	
32 花弁の数（八重品種に限る。）	02 かなり少
33 横から見た花の断面の形	02 平
34 花弁の不規則な条や斑点の有無	01 無

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 6 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 花の主な色（不規則な条や斑点のある品種に限る。）	
36 花弁の条や斑点の色（不規則な条や斑点のある品種に限る。）	
37 がくの反転の強弱	01 無又は弱
38 最も幅広のがくの中央部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
39 上部花弁の幅	06 やや広
40 上部花弁の形	04 へら形
41 上部花弁の先端の形	01 全縁
42 上部花弁の表面の周縁部の色	RHSカラーチャート N57A
43 上部花弁の表面の中央部の色	RHSカラーチャート N57A
44 上部花弁の裏面の色	RHSカラーチャート N66C
45 上部花弁の模様の明瞭度	02 かなり弱
46 上部花弁の模様の形	01 条のみ
47 上部花弁の最大の斑点の大きさ	
48 上部花弁の斑点の色	
49 上部花弁の基部の複色部の有無	09 有
50 上部花弁の基部の複色部の大きさ	06 やや大
51 上部花弁の基部の複色部の色	01 白

登録番号 登録品種の植物体の特性記録部 第29296号	
重要な形質	重要な形質に係る特性
52 下部花弁の表面の周縁部の色	RHSカラーチャート N57A
53 下部花弁の表面の中央部の色	RHSカラーチャート N57A
54 下部花弁の裏面の色	RHSカラーチャート N66C
55 下部花弁の模様の明瞭度	01 無又は極弱
56 下部花弁の模様の形	
57 下部花弁の最大の斑点の大きさ	
58 下部花弁の基部の複色部の有無	01 無
59 下部花弁の基部の複色部の大きさ	
60 下部花弁の基部の複色部の色	
61 内部花弁の表面の中央部の色（八重品種に限る。）	RHSカラーチャート N57A
62 開花始期	

1 品種登録の番号及び年月日 第29297号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Triticum aestivum L. ナンブキラリ

3 登録品種の特性の概要

草姿は中、出穂期は中、穂の形は紡錘状、穂の長さは中、芒の有無は長芒有り、穂の先端の芒の長さはやや長、穂の色は着色、原麦粒の色は赤、まき性は秋まき型、稈の長さは中、ふの色は褐、粒の形は円、千粒重はやや大、うるち・もちの別はうるち、成熟期は中、粒質は中間質である。

出願品種「ナンブキラリ」は、対照品種「銀河のちから」と比較して、Glu-A1遺伝子座にある対立遺伝子の発現がバンド無しであること、Glu-D1遺伝子座にある対立遺伝子の発現がバンド2+12であること、粒質が中間質であること等で区別性が認められる。対照品種「ゆきはるか」と比較して、穂の色が着色であること、原麦粒のフェノール反応による着色の濃淡が濃であること等で区別性が認められる。対照品種「ネバリゴシ」と比較して、芒の有無が長芒有りであること、穂の色が着色であること、稈の長さが中であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
茨城県つくば市観音台三丁目1番地1

6 登録品種の育成をした者の氏名

谷口 義則 伊藤 裕之 平 将人 中村 和弘 池永 幸子
中村 俊樹 前島 秀和 石川 吾郎 齋藤 美香 吉川 亮
伊藤 美環子 中丸 観子 氷見 英子 高山 敏之 池田 達哉

7 出願公表の年月日 平成31年2月26日

8 登録品種の育成の経過の概要

F1雑種「盛系C-130b-5-5//東北214号/東北207号/3/盛系C-B3423」に「盛系C-B3423」を交配し、選抜したものである。

Triticum aestivum L.
ナンブキラリ

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 子葉しょうのアントシアニン着色の強弱	03 弱
02 草姿	05 中
03 反曲した止め葉を持つ個体の出現頻度	05 中
04 出穂期	05 中
05 止め葉の葉しょうの白粉の強弱	06 やや強
06 止め葉の白粉の強弱	04 やや弱
07 穂の白粉の強弱	04 やや弱
08 穂首の白粉の強弱	06 やや強
09 草丈	05 中
10 穂首直下の節間の髓の厚さ	01 無又は極薄
11 穂の形	05 紡錘状
12 粒着密度	05 中
13 穂の長さ	05 中
14 芒の有無	03 長芒有り
15 穂の先端の芒の長さ	06 やや長
16 穂の色	02 着色
17 穂軸の先端凸部表面の毛の多少	01 無又は極少

Triticum aestivum L.
ナンブキラリ

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 護穎の肩部の幅	05 中
19 護穎の肩部の形	03 やや下がる
20 護穎の嘴の長さ	06 やや長
21 護穎の嘴の形	03 やや曲がる
22 護穎の内側の毛の多少	01 極少
23 原麦粒の色	02 赤
24 原麦粒のフェノール反応による着色の濃淡	07 濃
25 まき性	01 秋まき型
26 Glu-A1遺伝子座にある対立遺伝子の発現	03 バンド無し
27 Glu-B1遺伝子座にある対立遺伝子の発現	03 バンド7+9
28 Glu-D1遺伝子座にある対立遺伝子の発現	01 バンド2+12
29 稈の長さ	05 中
30 ふの色	04 褐
31 粒の形	02 円
32 千粒重	06 やや大
33 うるち・もちの別	01 うるち
34 成熟期	05 中

Triticum aestivum L.
ナンブキラリ

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 粒質	02 中間質

1 品種登録の番号及び年月日 第29298号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Zea mays L. ハヤミノルド

3 登録品種の特性の概要

第一葉しょうのアントシアニン着色の強弱は中、第一葉の先端の形は円～へら形、葉の数は少、葉の緑色の濃淡は中、雄穂の開花時期は極早、雄穂の穎基部のアントシアニン着色の強弱は弱、雄穂のアントシアニンの着色の強弱（穎苞基部を除く。）はやや弱、やくのアントシアニン着色の強弱は中、雄穂の主軸と一次枝梗の角度は中、雄穂の一次枝梗の反りは直、雄穂の一次枝梗の数はやや少、絹糸の抽出期は極早、絹糸のアントシアニン着色の強弱はやや弱、絹糸の色はサーモンピンク、仮根のアントシアニン着色の強弱は弱、葉しょうのアントシアニン着色の強弱は弱、節間のアントシアニン着色の強弱は中、草丈Ⅱは短、葉身の幅は中、雌穂の長さはやや短、雌穂の直径は中、雌穂の重さはかなり重、雌穂の粒列数はやや少、粒質はややフリント、雌穂の粒の先端部の主な色1は黄橙、雌穂の粒の側面の色1（スイートコーン品種を除く。）は橙、雌穂の穂軸のアントシアニン着色の強弱は強、倒伏抵抗性は極強、すす紋病抵抗性はかなり強、ごま葉枯病抵抗性はやや強である。

出願品種「ハヤミノルド」は、対照品種「たちぴりか」と比較して、絹糸の色がサーモンピンクであること、雌穂の穂軸のアントシアニン着色の強弱が強であること等で区別性が認められる。対照品種「Ho131」と比較して、絹糸の色がサーモンピンクであること、雌穂の直径が中であること等で区別性が認められる。対照品種「だいち」と比較して、雄穂の開花時期が極早であること、絹糸の色がサーモンピンクであること、雌穂の粒の側面の色1（スイートコーン品種を除く。）が橙であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
茨城県つくば市観音台三丁目1番地1
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
北海道札幌市北区北十九条西十一丁目1番地8

6 登録品種の育成をした者の氏名

佐藤尚 黄川田智洋 林拓 牧野司 秋山雄希

7 出願公表の年月日 令和2年7月16日

8 登録品種の育成の経過の概要

「Ho120」と「Ho131」の交配種である。

Zea mays L.
ハヤミノルド

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 第一葉しょうのアントシアニン着色の強弱	05 中
02 第一葉の先端の形	04 円～へら形
03 葉の数	03 少
04 葉の緑色の濃淡	05 中
05 葉身の周縁の波打ちの強弱	02 中
06 葉の着生角度	04 やや小
07 葉身の反り	03 やや外反
08 茎の屈曲の強弱	01 無又は極弱
09 雄穂の開花時期	01 極早
10 雄穂の穎基部のアントシアニン着色の強弱	03 弱
11 雄穂のアントシアニンの着色の強弱（穎苞基部を除く。）	04 やや弱
12 やくのアントシアニン着色の強弱	05 中
13 雄穂の主軸と一次枝梗の角度	05 中
14 雄穂の一次枝梗の反り	01 直
15 雄穂の一次枝梗の数	04 やや少
16 絹糸の抽出期	01 極早
17 絹糸のアントシアニン着色の強弱	04 やや弱

Zea mays L.
ハヤミノルド

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 絹糸の色	03 サーモンピンク
19 仮根のアントシアニン着色の強弱	03 弱
20 雄穂の小穂の粗密	05 中
21 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	03 弱
22 節間のアントシアニン着色の強弱	05 中
23 雄穂の最下枝梗着生部からの主軸の長さ	04 やや短
24 雄穂の最上枝梗着生部からの主軸の長さ	04 やや短
25 雄穂の一次枝梗の長さ	05 中
26 草丈 I	
27 草丈 II	03 短
28 草丈と雌穂着生位置の比	03 小
29 葉身の幅	05 中
30 穂柄の長さ	07 長
31 雌穂の長さ	04 やや短
32 雌穂の直径	05 中
33 雌穂の芯の直径	06 やや太
34 雌穂の数	02 1. 5

Zea mays L.
ハヤミノルド

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 雌穂の重さ	08 かなり重
36 雌穂の形	02 円錐～円筒形
37 雌穂の粒列数	04 やや少
38 雌穂の粒の色数（スイートコーン及びワキシコーン品種に限る。）	
39 粒の黄色の濃淡（スイートコーン品種に限る。）	
40 粒の長さ（スイートコーン品種に限る。）	
41 粒の幅（スイートコーン品種に限る。）	
42 粒質	02 ややフリント
43 雌穂の粒の縮みの強弱（スイートコーン品種に限る。）	
44 雌穂の粒の先端部の主な色1	04 黄橙
45 雌穂の粒の先端部の主な色2	
46 雌穂の粒の側面の色1（スイートコーン品種を除く。）	05 橙
47 雌穂の粒の側面の色2（スイートコーン品種を除く。）	
48 ポップコーンの形（ポップコーン品種に限る。）	
49 雌穂の穂軸のアントシアニン着色の強弱	07 強
50 粒の甘味	
51 倒伏抵抗性	09 極強

Zea mays L.
ハヤミノルド

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 すず紋病抵抗性 53 ごま葉枯病抵抗性	08 かなり強
	06 やや強

1 品種登録の番号及び年月日 第29299号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Zea mays L. Ho120

3 登録品種の特性の概要

第一葉しょうのアントシアニン着色の強弱はやや強、第一葉の先端の形は円形、葉の数は少、葉の緑色の濃淡は中、雄穂の開花時期は早、雄穂の穎基部のアントシアニン着色の強弱はやや弱、雄穂のアントシアニンの着色の強弱（穎苞基部を除く。）は中、やくのアントシアニン着色の強弱はやや強、雄穂の主軸と一次枝梗の角度はやや小、雄穂の一次枝梗の反りは直、雄穂の一次枝梗の数はかなり少、絹糸の抽出期はかなり早、絹糸のアントシアニン着色の強弱は強、絹糸の色は赤、仮根のアントシアニン着色の強弱は中、葉しょうのアントシアニン着色の強弱は弱、節間のアントシアニン着色の強弱はやや強、草丈Ⅰはやや短、葉身の幅はやや狭、雌穂の長さは短、雌穂の直径はやや小、雌穂の重さは中、雌穂の粒列数は中、粒質はややフリント、雌穂の粒の先端部の主な色1は黄橙、雌穂の粒の側面の色1（スイートコーン品種を除く。）は橙、雌穂の穂軸のアントシアニン着色の強弱は強、すす紋病抵抗性は中、ごま葉枯病抵抗性は中である。

出願品種「Ho120」は、対照品種「Ho87」と比較して、絹糸のアントシアニン着色の強弱が強であること、絹糸の色が赤であること等で区別性が認められる。対照品種「Ho96」と比較して、やくのアントシアニン着色の強弱がやや強であること、雌穂の穂軸のアントシアニン着色の強弱が強であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
茨城県つくば市観音台三丁目1番地1

6 登録品種の育成をした者の氏名

佐藤尚 黄川田智洋 伊東栄作 濃沼圭一 三木一嘉 榎宏征

7 出願公表の年月日 令和2年7月16日

8 登録品種の育成の経過の概要

「302101」と「Ho92」のF1系統と「Ho96」を交配し、選抜したものである。

Zea mays L.
Ho120

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 第一葉しょうのアントシアニン着色の強弱	06 やや強
02 第一葉の先端の形	03 円形
03 葉の数	03 少
04 葉の緑色の濃淡	05 中
05 葉身の周縁の波打ちの強弱	02 中
06 葉の着生角度	05 中
07 葉身の反り	02 直～やや外反
08 茎の屈曲の強弱	02 やや弱
09 雄穂の開花時期	03 早
10 雄穂の穎基部のアントシアニン着色の強弱	04 やや弱
11 雄穂のアントシアニンの着色の強弱（穎苞基部を除く。）	05 中
12 やくのアントシアニン着色の強弱	06 やや強
13 雄穂の主軸と一次枝梗の角度	04 やや小
14 雄穂の一次枝梗の反り	01 直
15 雄穂の一次枝梗の数	02 かなり少
16 絹糸の抽出期	02 かなり早
17 絹糸のアントシアニン着色の強弱	07 強

Zea mays L.
Ho120

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 絹糸の色	04 赤
19 仮根のアントシアニン着色の強弱	05 中
20 雄穂の小穂の粗密	05 中
21 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	03 弱
22 節間のアントシアニン着色の強弱	06 やや強
23 雄穂の最下枝梗着生部からの主軸の長さ	03 短
24 雄穂の最上枝梗着生部からの主軸の長さ	04 やや短
25 雄穂の一次枝梗の長さ	04 やや短
26 草丈 I	04 やや短
27 草丈 II	
28 草丈と雌穂着生位置の比	04 やや小
29 葉身の幅	04 やや狭
30 穂柄の長さ	07 長
31 雌穂の長さ	03 短
32 雌穂の直径	04 やや小
33 雌穂の芯の直径	05 中
34 雌穂の数	02 1 . 5

Zea mays L.
Ho120

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 2 9 9 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 雌穂の重さ	05 中
36 雌穂の形	03 円筒形
37 雌穂の粒列数	05 中
38 雌穂の粒の色数（スイートコーン及びワキシコーン品種に限る。）	
39 粒の黄色の濃淡（スイートコーン品種に限る。）	
40 粒の長さ（スイートコーン品種に限る。）	
41 粒の幅（スイートコーン品種に限る。）	
42 粒質	02 ややフリント
43 雌穂の粒の縮みの強弱（スイートコーン品種に限る。）	
44 雌穂の粒の先端部の主な色1	04 黄橙
45 雌穂の粒の先端部の主な色2	
46 雌穂の粒の側面の色1（スイートコーン品種を除く。）	05 橙
47 雌穂の粒の側面の色2（スイートコーン品種を除く。）	
48 ポップコーンの形（ポップコーン品種に限る。）	
49 雌穂の穂軸のアントシアニン着色の強弱	07 強
50 粒の甘味	
51 倒伏抵抗性	

Zea mays L.
Ho120

登録品種の植物体の特性記録部		登録番号
		第29299号
重要な形質	重要な形質に係る特性	
52 すず紋病抵抗性	05 中	
	05 中	
53 ごま葉枯病抵抗性		

1 品種登録の番号及び年月日 第29300号 令和4年7月11日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Zea mays L. Ho131

3 登録品種の特性の概要

第一葉しょうのアントシアニン着色の強弱は中、第一葉の先端の形は円形、葉の数は少、葉の緑色の濃淡はやや濃、雄穂の開花時期はかなり早、雄穂の穎基部のアントシアニン着色の強弱は無又は極弱、雄穂のアントシアニンの着色の強弱（穎苞基部を除く。）はやや弱、やくのアントシアニン着色の強弱はやや弱、雄穂の主軸と一次枝梗の角度はやや小、雄穂の一次枝梗の反りは直、雄穂の一次枝梗の数は多、絹糸の抽出期は極早、絹糸のアントシアニン着色の強弱はかなり弱、絹糸の色は緑、仮根のアントシアニン着色の強弱はやや弱、葉しょうのアントシアニン着色の強弱は弱、節間のアントシアニン着色の強弱はやや弱、草丈Ⅰは短、葉身の幅はやや狭、雌穂の長さはやや短、雌穂の直径は小、雌穂の重さはやや軽、雌穂の粒列数は少、粒質はフリント、雌穂の粒の先端部の主な色1は橙、雌穂の粒の側面の色1（スイートコーン品種を除く。）は橙、雌穂の穂軸のアントシアニン着色の強弱はやや強、すす紋病抵抗性は中、ごま葉枯病抵抗性はやや弱である。

出願品種「Ho131」は、対照品種「Ho87」と比較して、やくのアントシアニン着色の強弱がやや弱であること、雌穂の穂軸のアントシアニン着色の強弱がやや強であること等で区別性が認められる。対照品種「ハヤミノルド」と比較して、絹糸のアントシアニン着色の強弱がかなり弱であること、絹糸の色が緑であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
茨城県つくば市観音台三丁目1番地1

6 登録品種の育成をした者の氏名

佐藤尚 黄川田智洋 伊東栄作 濃沼圭一

7 出願公表の年月日 令和2年7月16日

8 登録品種の育成の経過の概要

「EF07」同士を交配し、選抜したものである。

Zea mays L.
Ho131

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 0 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 第一葉しょうのアントシアニン着色の強弱	05 中
02 第一葉の先端の形	03 円形
03 葉の数	03 少
04 葉の緑色の濃淡	06 やや濃
05 葉身の周縁の波打ちの強弱	02 中
06 葉の着生角度	04 やや小
07 葉身の反り	03 やや外反
08 茎の屈曲の強弱	01 無又は極弱
09 雄穂の開花時期	02 かなり早
10 雄穂の穎基部のアントシアニン着色の強弱	01 無又は極弱
11 雄穂のアントシアニンの着色の強弱（穎苞基部を除く。）	04 やや弱
12 やくのアントシアニン着色の強弱	04 やや弱
13 雄穂の主軸と一次枝梗の角度	04 やや小
14 雄穂の一次枝梗の反り	01 直
15 雄穂の一次枝梗の数	07 多
16 絹糸の抽出期	01 極早
17 絹糸のアントシアニン着色の強弱	02 かなり弱

Zea mays L.
Ho131

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 0 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 絹糸の色	01 緑
19 仮根のアントシアニン着色の強弱	04 やや弱
20 雄穂の小穂の粗密	05 中
21 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	03 弱
22 節間のアントシアニン着色の強弱	04 やや弱
23 雄穂の最下枝梗着生部からの主軸の長さ	02 かなり短
24 雄穂の最上枝梗着生部からの主軸の長さ	03 短
25 雄穂の一次枝梗の長さ	04 やや短
26 草丈Ⅰ	03 短
27 草丈Ⅱ	
28 草丈と雌穂着生位置の比	02 かなり小
29 葉身の幅	04 やや狭
30 穂柄の長さ	06 やや長
31 雌穂の長さ	04 やや短
32 雌穂の直径	03 小
33 雌穂の芯の直径	05 中
34 雌穂の数	02 1 . 5

Zea mays L.
Ho131

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 0 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 雌穂の重さ	04 やや軽
36 雌穂の形	02 円錐～円筒形
37 雌穂の粒列数	03 少
38 雌穂の粒の色数（スイートコーン及びワキシコーン品種に限る。）	
39 粒の黄色の濃淡（スイートコーン品種に限る。）	
40 粒の長さ（スイートコーン品種に限る。）	
41 粒の幅（スイートコーン品種に限る。）	
42 粒質	01 フリント
43 雌穂の粒の縮みの強弱（スイートコーン品種に限る。）	
44 雌穂の粒の先端部の主な色1	05 橙
45 雌穂の粒の先端部の主な色2	
46 雌穂の粒の側面の色1（スイートコーン品種を除く。）	05 橙
47 雌穂の粒の側面の色2（スイートコーン品種を除く。）	
48 ポップコーンの形（ポップコーン品種に限る。）	
49 雌穂の穂軸のアントシアニン着色の強弱	06 やや強
50 粒の甘味	
51 倒伏抵抗性	

Zea mays L.
Ho131

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 0 0 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 すず紋病抵抗性 53 ごま葉枯病抵抗性	05 中
	04 やや弱